

学習指導要領対応と、新しい学力評価方式で、
さらにパワーアップ➡

標準学力調査



顧問	荒井 克弘	大学入試センター 教授
調査分析設計協力	荘島 宏二郎	大学入試センター 准教授
調査編集協力		
国語	樺山 敏郎	大妻女子大学 准教授
社会	中田 正弘	白百合女子大学 教授
算数・数学	清水 宏幸	山梨大学大学院 准教授
理科	田代 直幸	常葉大学 教授
英語	笠島 準一	上智大学 名誉教授

目次

標準学力調査の特長	p.2
目標準拠方式と結果資料	p.8
段階評価方式と結果資料	p.12
個人票	p.16
英語特集	p.18
Web評価支援システム	p.22
質問紙調査(i-checkなど)	p.26

調査問題と評価方式の種類

標準学力調査は、経年比較を重視した「部分改訂版」と、毎年問題が変わる「全面改訂版」の2種類の調査問題を発行しています。

また、小問ごとに設定した出題のねらいや目標値（期待正答率）に達しているかどうかを確認する、「目標準拠評価方式」という方式に加え、「段階評価方式」という新たな方式が加わり、2種類の評価方式から結果帳票を選べるようになりました。



2種類の調査問題から選べる!

全面改訂版

100%

調査問題を毎年全面改訂します。

問題の
改訂率

実際の問題は
P.4へ!

部分改訂版

一部改訂

調査問題を必要に応じて改訂します。

標準スコアで比較

標準スコアを基準とした、経年比較資料（教育委員会・学校用）を提供します。

経年比較

同一問題を正答率で比較

標準スコアを基準とした資料のほかに、前年度と同一問題での正答率を基準とした経年比較資料（教育委員会・学校用）を提供します。誤差のない厳密な経年比較が可能です。

全国値決定後

1学期版：6月初旬以降順次返却
3学期版：1月中旬以降順次返却

結果資料の
返却

採点終了後

1学期版：5月中旬以降順次返却
3学期版：1月初旬以降順次返却

回収しない

問題用紙は回収いたしません。つまずいた問題の振り返りに使用できます。

問題用紙の
回収

回収する

調査の性格上、問題用紙は結果資料到着後にすべて回収します。

※1学期版小学校2年生と3学期版小学校1年生は除く。
※調査の公平性を保つため、児童・生徒への問題冊子の返却は、調査時期に関わらず、1学期版は6月末まで、3学期版は3月10日までお待ちください。それまでは、校内での使用・保管をお願いいたします。

結果資料がデータで確認でき、実際の児童・生徒の解答と問題が確認できる
Web評価支援システムもご紹介します。詳しくは [P.22](#)へ!

2種類の評価方式から選べる!

目標値評価方式

評価は、「目標値」を基準として行います。目標値は、解答形式や出題形式をもとに初期設定し、プレテストの結果を加味して調査編集協力委員と協議のうえ、統計処理して決定します。

詳しくは [P.8](#) へ→

段階評価方式

評価は、「ステップ」と呼ばれる、学力を5段階に順序づけて分類する段階評価を基準として行います。「ステップ」は、「潜在ランク理論 (LRT: Latent Rank Theory)」を用いて結果を分析し、調査分析設計協力委員と協議のうえ、検証を重ねて決定します。

詳しくは [P.12](#) へ→

目標値を基準に、小学校3段階、中学校5段階で設定

総合評定

4カテゴリーのステップを5段階で表し、その結果から総合ステップを5段階で設定

目標値を表示

小問の レベル表示

5段階の難易度を表示

小学校3段階、中学校5段階の総合評定の人数割合を表示

学力階層の 割合

5段階の総合ステップの人数割合を表示

平均正答率を表示

小問正答率

平均正答率に加え、ステップ別の正答率を表示

目標値-5ポイントを基準に、その値以上の人数割合を達成率として設定

達成率

ステップ3~5までの人数割合を達成率として設定

目標値と正答率を比較して表示

個人票

4カテゴリーのステップと総合ステップを表示

個人票について、詳しくは [P.16](#) へ!

学習指導要領に対応

学習指導要領の改訂のポイントを踏まえ、評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を適切に測る問題設計です。

多様な表現力を測る

豊富な記述式問題で子供たちの多様な考え方を評価します。

課題解決学習を意識

日常生活や普段の授業等の場面を設定し、見方・考え方を働かせて取り組む課題解決の流れに沿った問題を出題します。

小学校算数

意見交流や議論など対話的な場면을積極的に取り上げています。

19 先生は、次のような問題を出しました。

町の図書館にある本の数は、百の位の数字を四捨五入してが千にすると、20000さつになります。町の図書館にある本の数のはんいを求めましょう。

てつやさんは、百の位の数字を四捨五入して20000になる数のはんいについて次のように説明しました。

百の位の数字を四捨五入して20000になる数のうち、いちばん小さい数は、19500で、いちばん大きい数は、20400です。だから、本の数のはんいは、19500さつ以上20400さつ以下です。

ともみさんは、てつやさんの説明について、次のように考えました。

てつやさんの考えは、正しくありません。本の数は、一の位まで考えられます。例えば、**ア**は20400より大きいけれど、百の位の数字を四捨五入すると、20000になります。図に表すと、

だから、正しい答えは、19500さつ以上20500さつ**イ**です。

(1) ともみさんの考えの、**ア**にあてはまる数を次の1~4から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、**イ**にあてはまる言葉を、あとの□から選んで書きましょう。

1 20450	2 20500
3 20510	4 20600

以下 未満

(2) 先生は、続けて次のような問題を出しました。先生が出した問題について、みんなで考えています。

町の図書館にある児童書の数は、9465さつです。児童書の数を四捨五入すると、およそ何さつになりますか。

わたしの答えは、9000さつです。

わたしの答えは、9500さつになりました。

2人とも正しく四捨五入しているけれど、ちがう答えになったのはどうしてでしょうか。

てつやさんともみさんも正しく四捨五入したのですが、ちがう答えになりました。ちがう答えになったのはなぜですか。そのわけを説明しましょう。

ストーリーの中で、基本的な知識・技能の定着を測ることができる問題です。

対話的な学習の過程から疑問を見いだし、その理由について記述する問題です。

見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを取り入れています。

小学校理科

小学校社会

12 たいちさんとあゆみさんは、丹波の地いすの水不足をふくむことになり組みについてそれぞれ調べました。あとの問題に答えましょう。

【空室から水をとり出すかんばん(図1)】
(土地いす) アメリカ合衆国のカリフォルニア州
(水不足のようす) 雨のふる量が少なく、水不足にならざるやまされてる。

【とり組み】
かんばんの中に空気をとりこんで、きれいにした空気から水をとり出すことができる。水は、このそうちの中にためられて、図2のように、じや口をひねると、きれいな水が出てくる。

【日本ばん(図3)】
(土地いす) アメリカ合衆国のカリフォルニア州
(水不足のようす) 雨のふる量が少ない理由で、長期間の水不足が続いている。

【とり組み】
水不足をためておく「貯水池」の水を守るため、プラスチックできた日本ばん(図4)のように、水にたくもんがべら、そするこで、太陽の光が水に透すつたるのをふくむことができる。

図4 貯水池

(1) 図1は、「空室から水をとり出すかんばん」のしくみを表したものです。これについて、たいちさんはあのように話しています。

図5

①空気を取りこむ。②空気をきれいにする。③空室から水をとり出す。④水をきれいにする。

⑤水をためておく。⑥水じや口から水が出てくる。

きれいにした空気を(ア)ことで、空気中の水じょう気をとり出しているんだね。これは、ふるの鏡がくもると同じ現象だね。

たいちさん

① 図5の①、②のときの水のすがたは、それぞれ「気体」、「液体」、「気体」のうちどれですか。

② たいちさんの話の(ア)は、図5の②で、空気から水をとり出す方法になります。あてはまる言葉を書きましょう。

(2) あゆみさんは、「日本ばん(図3)」について、次のように話しています。

貯水池の水に、太陽の光が透すつたらないようにしているから、大切な水がへりにくくなるんだね。

あゆみさん

日本ばん(図3)の水をうかべて、太陽の光が透すつたらないようにすることで、水がへりにくくなるのは、なぜですか。かんたんに書きましょう。

自然の事物・現象に身につけた知識を適用し、思考・表現する問題です。

統計資料を読み取り、正確に説明するという授業での班別活動の場面を想定した問題です。

日本の食料生産の特色に関する知識と、日本地図をもとにした資料を読み取る技能を測る問題です。

6 あやなさんたちは、日本の食料生産について調べました。次の問題に答えましょう。

(1) あやなさんたちはそれぞれ、日本の主な農産物の生産地について説明しています。

1 あやな レタスは、それぞれの産地の特色を生かしてつくられています。夏はすずしい長野県などで、春と秋は大消費地に近い茨城県などで多く生産されています。

2 ひろと みかんは気候のえいさようを受けやすい農産物です。主な産地は和歌山県、愛媛県、静岡県などで、あたたかい気候の地方にあります。

3 まひろ 牛肉の飼育には、えさになる牧草をつくる広い土地が必要です。牛肉の生産は、北海道や鹿児島県などでたくさんです。

4 まひろ 米は日本でつくられていますが、特に新潟県や北海道、秋田県や山形県などで生産がさかんでいます。

右の資料は、ある農産物の生産量が多い県を表したものです。この資料を使って説明している人を、上の1~4から1人選んで、その番号を書きましょう。

生産量
102万t以上
57万t以上102万t未満
27万t以上57万t未満
27万t未満

2014年 (データのある県) 2016年(推定)

学習指導要領における「情報の扱い方に関する事項」に対応します。複数の資料を関連づけて整理し、伝えたいことを明確に記述する力を測ることができます。

小学校国語

情報を相手にわかりやすく伝えるための文章の工夫を考える問題です。

目的に応じて情報を収集し、考えたことや伝えたいことをまとめて書くという言語活動の場面を想定した問題です。

1 小山さんたちは、「パンフレットの案」を作ることに、どのよう工夫をして作っていますか。次から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 市のみかんを知ってもらうため、集めた資料をすべて使って、できるだけ詳しく説明している。

2 市のみかんを宣伝するため、みかんのよいところを具体的な数値を挙げてしようかしている。

3 市のみかんを食べてもらうため、みかんに関する役立つ情報を、複数の観点から示している。

4 市のみかんをよりよいものにするため、自分たちが考えたみかん作りする方法を書いている。

みかん質問箱に、なぜA市でみかん作りがさかんなのかという質問と、それに対する答えを書き加えてはどうか。

原さん

【書き直す部分】

★みかん質問箱★
質問：みかんにはどんな栄養があるの？
答え：みかんの子房に役立つビタミンC、つかれをとる効果のあるクエン酸、腸の働きをよくする食物せんいなどがふくまれています。
質問：A市でみかん作りがさかんなのはなぜ？
答え：ア

使った、一文で書きましょう。

【資料】

A市のみかん
A市は、みかん作りがさかんなS県の中でも、いちばんのみかんの生産量をほこっています。みかん作りに向いているのは、日当たりがよくて雨が少なく、水はけのよい土地です。A市は、この条件に合っているため、昔からみかん作りがさかんでした。

◆みかん畑の一年

春	肥料をまく。
夏	きざついた実などをとる。
秋	収穫する。
冬	あみをかけて、寒さを防ぐ。

みかんには体にいい栄養がいっぱい!
ビタミンC…かぜの予防に役立つクエン酸…つかれをとる食物せんい…腸の働きをよくする

おいしいみかんのポイント

- 皮が、こいオレンジ色。
- 皮がなめらかで、しまっている。
- 「へた」が黄色で、切り口(直徑)が小さい。

小山さんたちは、グループ学習の時間に、自分たちの住むA市の特産物であるみかんをしようかしている。パンフレットの案を作ることにしました。小山さんたちが集めた資料とパンフレットの案を読んで、あとの問題に答えましょう。

【パンフレットの案】

食べてね! A市のみかん
A市は、みかん作りの歴史も深い、みかんの産地です。みかん作りで知られるS県の中でも、いちばんの生産量をほこっています。

「A」が黄白く、切り口(直徑)が小さい。

皮がなめらかで、しまっている。オレンジ色の切り口がよい。

★みかん質問箱★
質問：みかんにはどんな栄養があるの？
答え：みかんの子房に役立つビタミンC、つかれをとる効果のあるクエン酸、腸の働きをよくする食物せんいなどがふくまれています。

みかんには、体にいい栄養がたくさんふくまれています。A市のみかんを食べて、元気な毎日を送りましょう!

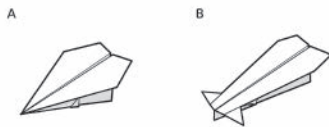
中学校 数学

中学校では、文化祭で「クラス対抗紙飛行機大会」が行われます。この大会は、次のようなルールで行われます。

クラス対抗紙飛行機大会のルール

- 紙飛行機の材料はA4サイズの紙を使用すること。
- 紙飛行機には、使用する紙以外のおもり等はつけないこと。
- 紙飛行機は体育館のステージから飛ばすこととし、飛ばす際には、ゴム等は使用しないこと。
- 各クラス1回だけ紙飛行機を飛ばし、その記録をそのクラスの記録とする。
- もっとも長い記録を出したクラスを優勝とする。

智樹さんと真由さんたちのクラスでは、どのような折り方の紙飛行機を使用するかを話し合いました。話し合いの結果、Aの折り方の紙飛行機とBの折り方の紙飛行機を、実際に何度か飛ばして、どちらの折り方の紙飛行機を使用するか決めることになりました。

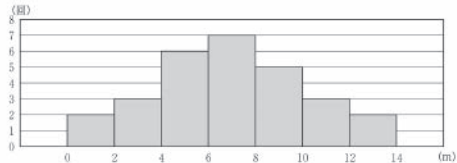


AとBでは、どちらの折り方のほうが、より長い記録を出せそうかな。

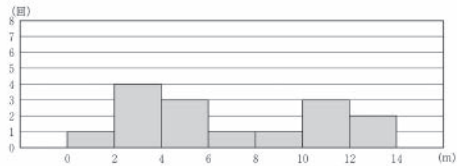


次の二つのヒストグラムは、AとBの紙飛行機をそれぞれ何回か飛ばしたときの、飛んだ記録をまとめたものです。例えば、Aの紙飛行機のヒストグラムから、Aの紙飛行機の2m以上4m未満の記録が3回あったことがわかります。

Aの紙飛行機の記録



Bの紙飛行機の記録



このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 智樹さんと真由さんは、上の二つのヒストグラムについて話し合っています。

智樹さん「大会では、A、Bのどちらの折り方の紙飛行機を選びたいのかな。」
真由さん「AとBの紙飛行機のヒストグラムは、全体の度数が違っても、度数をそのまま比較していいのかな。」

AとBの紙飛行機のヒストグラムを比較して、そこからわかる特徴をもとに、クラスの紙飛行機の折り方を選ぶとすると、あなたならAとBのどちらの折り方を選びますか。A、Bのどちらか一方の折り方を選びなさい。また、その折り方を選んだ理由を、AとBの紙飛行機のヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらの折り方を選んで説明してもかまいません。

統計の問題では、単に知識・技能を問う問題だけではなく、生徒がデータの傾向を総合的に考察し、判断する問題も出題しています。

与えられた情報を適切に読み取り、生徒自らが判断した理由を数学的に表現する力を測る問題です。

中学校 理科

- 13 真理子さんは、ある日、窓ガラスの表面に小さな水滴がたくさんついているのがつきました。真理子さんは、窓ガラスに水滴が結露するしくみについて考え、あのような実験を行いました。あとの問いに答えなさい。



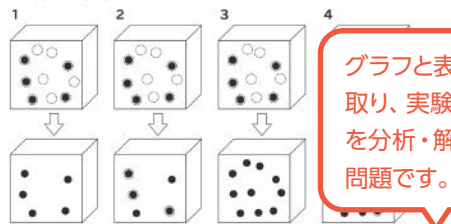
【課題】
どのようなときに、窓ガラスに水滴が結露するのだろうか。
【予想】
窓ガラスの外側と内側の温度のちがいで起きる。
【実験】
右の図のような装置をつくってしばらく置き、フラスコの底のようすを調べた。

- (1) 真理子さんは、フラスコの中を部屋の外の空気、ピーカーの中の空気を部屋の中の空気で見立てて、実験を行いました。寒い冬の日に暖房で部屋をあたためたときの部屋の窓ガラスの表面を調べるための実験は、どのようになると考えられますか。次の1~4から1つ選びなさい。



条件制御の知識・技能を活用し、実験を立案する力を測る問題です。

- (2) 窓ガラスに水滴が結露するようすを、粒のモデルを使って表すとどのようになりますか。次の1~4から1つ選びなさい。ただし、○は気体としてふくむことのできる水(水蒸気)、●は気体として空気中にふくまれている水(水蒸気)、●は結露によって出てきた水を表しています。



グラフと表を読み取り、実験の結果を分析・解釈する問題です。

- (3) 真理子さんは、結露しにくくする方法について調べたところ、部屋の窓を二重にするという方法を見つけました。真理子さんは、次の図のように、冬の寒い日に、窓の外側の空気温度、室内の空気温度、1枚目と2枚目のガラスの間の空気温度を、温度計ではかりました。そのときの結果を、表にまとめました。また、気温と1m³の空気にふくまれる水蒸気質量との関係を、次のグラフに表しました。



これらのことから、窓を二重にすると、結露しにくくすることができるのはなぜだと考えられますか。その理由を簡潔に書きなさい。

見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを取り入れています。

中学校 国語

今日的な話題や日常生活に関連した話題を積極的に取り上げています。

友達の意見を受けて推敲するという、日常生活の中での対話的な場面を想定した問題です。

【資料A】オリンピックの歴史からわかること

- ・オリンピックの根拠は、スポーツは人間の心を成長させ、優れた人間の育成に役立つという考えがある。
- ・オリンピックの目的は、スポーツを人類の発展や、平和な社会の実現のために役立てることである。
- ・オリンピック・ムーブメントとは、オリンピックの考え方に賛成したすべての個人と団体によって行われる活動のことである。

【資料B】オリンピックの歴史

紀元前七六六年	神をまつための行事として、オリンピックが開催された。
一八九四年	パリで国際会議が開催され、ピエール・ド・クーベルタンが、オリンピックの復興を提議した。これは現代オリンピックの始まりとよばれる。
一九一四年	第一次世界大戦の影響で、オリンピックが中断された。
一九二四年	パリで第二次オリンピックが開催された。

【資料C】クーベルタンの名言

「オリンピックで最も重要なことは、勝つことではなく参加することである。」

→オリンピックに参加することで、人々が交流し、将来的な世界の平和につながる。

【資料D】日本とオリンピックの関わり

高橋治五郎が1909年に国際オリンピック委員会に就任

→日本がオリンピックに関わるきっかけ

高橋は、体育によって体だけでなく、心も成長させられるという考えを持っていた。それには年齢や性別、環境は関係なかった。また、このような考えは、よりよい社会の実現にも生かされると思っていた。

【資料E】「発案段階の下書き」

私は、オリンピックについて調べました。紀元前七六六年に初めてオリンピックが開催されました。これは三九三年まで続きました。その後、一八九四年、ピエール・ド・クーベルタンがオリンピックの復興を呼びかけました。これ以降を「近代オリンピック」とよびます。そして、一八九六年にギリシャのアテネで第一回オリンピックが開催されました。また、一九二四年には、冬のオリンピックがフランスのシャモニーで初めて開催されました。オリンピックの根本的な考え方を記した「オリンピック憲章」を読むと、オリンピックには、スポーツを通じて優れた人間を育成し、平和な社会を築くという目的があることが分かります。オリンピック競技大会は、そのための活動なのです。日本が初めてオリンピックに関わったのは、一九〇九年に高橋治五郎が国際オリンピック委員会に就任してからです。彼は、現在の「オリンピック憲章」に共通する考えを持っていました。

【資料F】「心懸」

「心懸」という言葉を調べて書いてください。四十字以上、五十字以内で書くこと。

友達の意見を受けて推敲するという、日常生活の中での対話的な場面を想定した問題です。

非連続型テキストの情報を関連づけた上で自分の考えをまとめ、相手に効果的に伝わるように文章の構成を考える問題です。

中学校 社会

小学校で学習した内容との系統性を重視した問題を取り入れています。生徒がつまづきやすい学習事項の定着を測ることができます。

【資料オ】百万塔

まきあきさんは、図書館の本で奈良時代の様子調べていて、右の資料オを見つけ、とても不思議な印象を受けました。

そこで、まきあきさんは、資料オの内容について、さらに詳しく調べました。その結果、奈良時代にこれをつくらせた称徳天皇の考え方には、3代前の天皇である聖武天皇と共通点があることに気づきました。

その共通点まきあきさんがにして、「仏教」について書きなさい。

学習指導要領での重要事項である、年表や白地図、グラフなどを用いた問題を積極的に設定しています。

【資料カ】

年	できごと
734	・全国規模の大地震がおこり、多数の死者が出るなど大きな被害が出る。
737	・政権の中心にいた藤原氏の貴族4人が、大流行していた病気により相次いで死去し、藤原氏の力がおとろえ始める。
740	・藤原氏の貴族が朝廷に反発して兵を挙げが、敗れて死ぬ。
743	・聖武天皇が大仏の建立を命じる。
752	・東大寺の大仏が完成する。
757	・光明皇后(聖武天皇の)の後ろだてで勢力をのびた藤原仲麻呂が、対立する貴族をほろぼす。その後、絶大な権力をにぎる。
760	・光明皇后が死去し、藤原仲麻呂の力がおとろえ始める。
764	・このころから、各地でまきあきさんが多発するようになる。
764	・藤原仲麻呂が上皇と対立して兵を挙げが、敗れて死ぬ。
764	・勝利した上皇が再び即位して称徳天皇となり、百万塔の製作を命じる。
770	・称徳天皇が、陀羅尼を納めた百万塔を10の寺院に納める。

【資料キ】

世界の気候と人々の生活について、次の地図を見て、あとの問いに答えなさい。

(1) 世界は大きく5つの気候帯に分けることができ、そのうち乾燥帯と寒帯を除く3つの気候帯では多くの木々が育ちます。次のX-Zのグラフはそれぞれ、それら3つの気候帯のいずれかに属する、地図中のア-ウのいずれかの都市の気候を示しています。グラフと都市の組み合わせとして正しいものを、あとの1-4から1つ選びなさい。

気候帯	X	Y	Z
緯度	30°N	40°N	30°S
年間降水量 (mm)	約1000	約1000	約1000
年間最高気温 (°C)	約20	約20	約20
年間最低気温 (°C)	約-10	約-10	約-10

1 X…イ Y…ア Z…ウ
2 X…イ Y…ウ Z…ア
3 X…ウ Y…ア Z…イ
4 X…ウ Y…イ Z…ア

「目標準拠評価方式」で子供たち ～標準学力調査が積み上げた信頼の評価方式～

目標値とは、学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、小問ごとに正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したものです。

「出題形式」や「解答形式」が持っている一般的な特性をもとに初期設定し、かつ、プレテストなどによって検証し、実際の正答率と大きく乖離したものについては補正したうえで決定しています。

1 小問ごとに設定される「目標値」

「目標値」は、その小問の難易度を表します。
値が小さいほど、難易度の高い問題です。

目標値 80%

目標値 40%

小問ごとの「目標値」の平均値が、
教科全体の「目標値」です。

- 小問1 目標値 80%
- 小問2 目標値 80%
- 小問3 目標値 75%
- 小問4 目標値 60%
- 小問5 目標値 80%
- 小問6 目標値 60%
- 小問7 目標値 70%
- 小問8 目標値 60%
- 小問9 目標値 65%

教科総合
70%

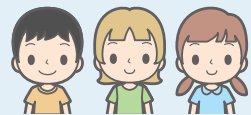
2 目標値と正答率を比較して到達状況を確認

集団（クラス、学校）の正答率を目標値と比較することで、
その後の授業設計に役立ちます。



小問8 目標値 60% クラス正答率 88%

しっかり身につけている児童が多い
クラスです。

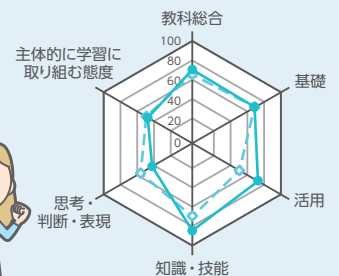


小問8 目標値 60% クラス正答率 47%

苦手な児童が多いようです。
復習の時間を作りましょう。

一人ひとりの正答率を
目標値と比較することで、
学力向上の手立てが得られます。

基礎はできて
いるね！
思考・判断・
表現はもっと
伸ばせるよ！



「目標準拠評価方式」のメリット

- 1 目標値は、受検者集団に依存しない、絶対評価的に用いることができる指標です。
- 2 教科総合、基礎、活用、観点や問題の内容、解答形式など、それぞれのカテゴリーの目標値は小問ごとに設定された目標値をもとに示されるため、カテゴリー正答率と比較することができます。

ちの到達度評価を!

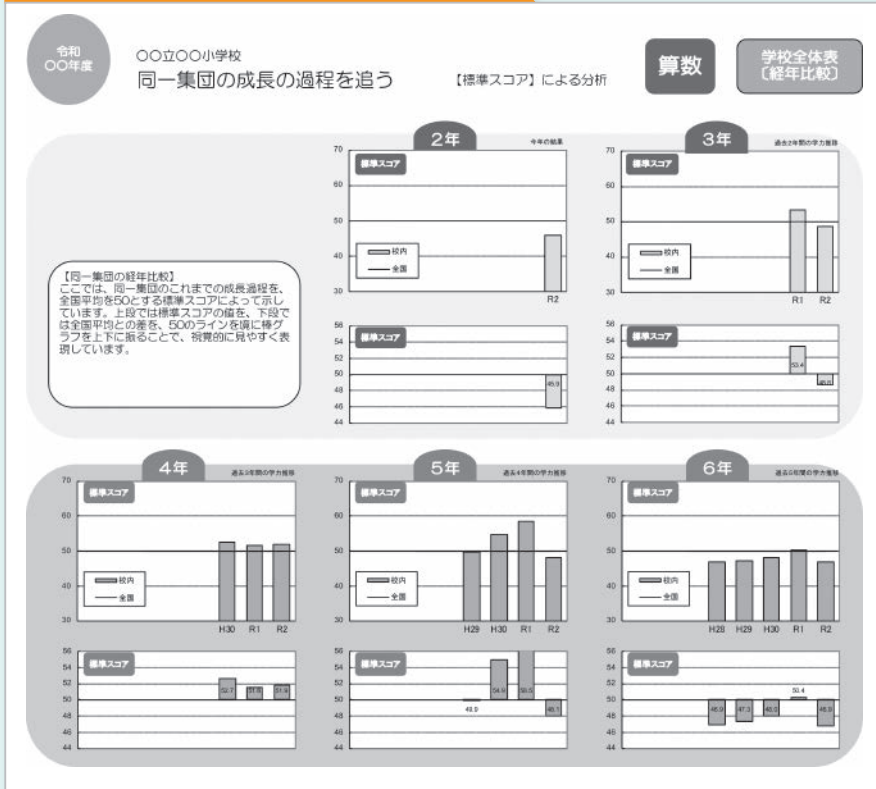


「目標標準評価方式」の結果資料の例

段：段階評価方式の結果資料にも同様の資料が含まれます。

学年全体表(経年比較)

段



資料の見方

教科ごとに、同一集団のこれまでの結果を経年で示しています。全国平均を50とする「標準スコア」による棒グラフで表示、最長6年間の学力推移の表示が可能です。

資料の見方

全学年/全教科の結果を、文部科学省が設定した
[知識・技能]
[思考・判断・表現]
[主体的に学習に取り組む態度]
の観点ごとに確認できます。

全体表(観点別)

段

標準学力調査		全体表(観点別)														〇〇立〇〇小学校		令和〇〇年度					
学年	項目	知識				社会				算数				理科				英語				標準スコアの合計	標準スコアの平均
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合						
2年	目標値	73.0	71.9	81.7	79.6					79.2	87.5	89.6	83.1									152.5	76.3
	校内平均正常率	74.2	60.4	76.9	50.1					78.3	66.9	66.6	82.6									179.8	89.9
	前年度校内平均正常率	90.8	92.8	94.8	89.9					89.0	87.0	80.8	90.8									163.4	81.7
	全国平均正常率	73.4	69.7	81.1	53.3					84.0	88.3	72.7	88.8										
	評価	△	△	△	△					△	△	△	△										
3年	目標値	74.8	71.9	76.4	87.0					72.0	80.5	64.2	77.4									151.6	75.8
	校内平均正常率	76.8	74.7	76.8	71.9					74.8	67.6	64.2	79.6									181.1	90.6
	前年度校内平均正常率	77.6	80.5	81.3	78.2					79.9	71.7	73.2	83.2									157.5	78.8
	全国平均正常率	78.9	74.3	80.1	68.1					77.3	85.2	70.4	81.9									150.2	78.1
	評価	△	△	△	△					△	△	△	△										
4年	目標値	69.0	65.0	70.0	59.6	67.5	65.0	68.8	67.2	65.0	51.0	71.2	70.1	61.7	67.3	69.1					284.0	71.0	
	校内平均正常率	74.6	69.7	76.9	63.4	63.7	57.7	55.1	61.8	78.1	77.0	67.3	79.5	67.6	63.3	65.2	74.1					181.1	90.6
	前年度校内平均正常率	91.2	90.5	85.4	85.3					89.9	89.5	82.5	91.9									298.4	74.1
	全国平均正常率	71.9	67.2	74.1	60.5	76.4	72.4	70.5	75.0	74.8	71.2	61.8	78.0	73.3	67.0	71.2	74.8						
	評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△						
5年	目標値	68.4	61.9	57.2	62.3	64.1	58.5	58.4	69.5	63.9	60.0	54.1	69.3	66.4	65.8	58.8	62.9	61.9	59.6	48.6	64.1	309.8	62.0
	校内平均正常率	67.9	60.7	56.7	63.6	53.4	45.5	49.5	55.4	67.0	65.3	60.6	70.2	57.8	53.2	49.2	67.3	63.7	62.0	49.8	64.0	273.8	68.4
	前年度校内平均正常率	83.7	76.3	68.1	83.7	89.1	82.6	84.2	80.5	72.3	68.3	63.5	86.4	58.5	57.8	54.8	51.0	64.7	64.3	64.0	59.7	123.1	61.6
	全国平均正常率	71.9	67.2	74.1	60.5	68.1	60.5	64.0	72.3	71.0	65.2	63.7	76.4	67.7	66.4	62.9	64.8	62.3	61.4	48.8	64.3	343.4	68.7
	評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
6年	目標値	68.1	66.3	65.0	65.8	66.4	59.3	65.8	68.4	63.2	47.1	52.1	65.8	68.5	68.3	66.7	57.5	56.4	38.7			615	
	校内平均正常率	69.5	69.5	67.9	71.6	71.0	63.1	70.6	69.5	63.4	43.4	49.4	66.3	72.2	74.0	73.7	61.5	58.3	55.5	38.7	62.9	334.4	66.9
	前年度校内平均正常率	88.4	82.1	61.3	60.4					88.4	84.7	64.3	64.0	59.7	64.7	64.3	64.0	59.7	59.0	56.2	38.7	123.1	61.6
	全国平均正常率	74.3	72.3	69.2	73.4	69.5	62.8	70.2	71.0	69.8	62.7	61.0	71.6	72.1	70.6	70.0	72.4	59.0	56.2	38.7	64.3	344.7	68.9
	評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			
評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			
評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			
評価	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			

「標準学力調査」の結果資料の例

教科概要

標準学力調査 小学校5年 算数

★最大値結果

目標値	平均正答率	伊予県	達成率
目標値	87.9	72.7	83.0
伊予県	99.1	72.7	73.3
全国	71.0	76.3	73.8

★各カテゴリ一貫正答率

目標値	伊予県	全国
目標値	63.9	69.1
伊予県	83.9	67.0
全国	66.9	69.3
伊予県	48.3	54.9
全国	67.4	58.8
伊予県	59.3	62.5
全国	68.3	67.2
伊予県	55.7	63.4
全国	60.9	65.3
伊予県	54.1	60.0
全国	69.5	70.2
伊予県	63.4	67.0
全国	66.6	69.1
伊予県	43.0	49.9
全国	53.2	57.0

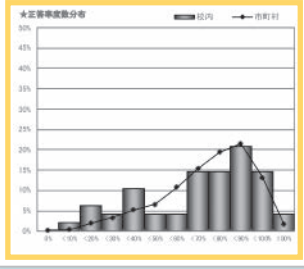
★正答率の比較

【基礎・活用】 【領域】 【観点】

★標準スコアによるカテゴリ一貫の比較 (各カテゴリの割合は、全国平均を50とした場合の標準スコアを示します)

資料の見方
各カテゴリの正答率を全国値と並べて、棒グラフで視覚的に表しています。

資料の見方
各教科のプロフィールを把握できます。「達成率」とは、目標値と同程度以上の正答率であった児童・生徒の割合を示しています。



資料の見方
各カテゴリの正答率を、全国平均を50とする「標準スコア」で表し、レーダーチャートで示しています。これにより、相対的にどのカテゴリが良好で、どのカテゴリに課題があるのかを把握できます。

資料の見方
正答率の分布状況を示したグラフです。最頻出値がどのあたりにあるのか、また、学力が二極化していないかなど、定着度の実態を確認することができます。

問題情報

段

標準学力調査 小学校5年 算数 問題情報

問題番号	問題種別	問題内容	問題の属性	問題の属性(2)	正答率	伊予県	全国	達成率
1	選択	7角形の内角	基礎・活用	基礎	85.0	83.0	86.0	83.0
2	選択	18角形の1つの内角	基礎・活用	基礎	85.0	83.0	85.7	83.0
3	選択	20角形の1つの内角	基礎・活用	基礎	85.0	86.7	85.7	85.7
4	選択	18角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	85.0	83.0	81.9	81.9
5	選択	18角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	85.0	83.0	86.1	86.1
6	選択	9角形の1つの内角	基礎・活用	基礎	85.0	83.3	74.0	74.0
7	選択	9角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	85.0	83.3	83.6	83.6
8	選択	9角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	75.0	88.7	85.0	85.0
9	選択	8角形の1つの内角	基礎・活用	基礎	80.0	86.7	87.4	87.4
10	選択	8角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	86.7	85.8	85.8
11	選択	10角形の1つの内角	基礎・活用	基礎	70.0	83.3	70.5	70.5
12	選択	10角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	85.0	83.3	84.7	84.7
13	選択	10角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	85.0	86.7	87.6	87.6
14	選択	10角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	90.0	83.6	83.6
15	選択	12角形の1つの内角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	85.7	85.7
16	選択	12角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.8	84.8
17	選択	12角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
18	選択	12角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
19	選択	12角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
20	選択	4角形の1つの内角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
21	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
22	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
23	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
24	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
25	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
26	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
27	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
28	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
29	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
30	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
31	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
32	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
33	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
34	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
35	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
36	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
37	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7
38	選択	4角形の1つの外角	基礎・活用	基礎	80.0	83.3	84.7	84.7

資料の見方
小問ごとに以下の情報が確認できます。

【各小問の属性に関する情報】

- 解答形式
- 正答/正答条件/解答内容
- 基礎・活用
- 観点
- 領域
- 問題の内容
- 出題のねらい
- 学習指導要領との対応

【正答率に関する情報】

- 評価
- 目標値
- 校内正答率(今年度)
- 校内正答率(前年度)^{*1}
- 差(＝今年度－前年度)^{*1}
- 全国正答率

^{*1} 部分改訂版のみ

結果資料の納品方法は 右記の3パターンから お選びいただけます。

- ①紙帳票のみ
- ②データ (CD) のみ※①には含まれていない結果資料も入っています。
- ③紙帳票+データ (CD) ※追加料金 (1校あたり1,100円 (税込)) ががかかります。

資料の見方

設問ごとの解答類型の反応率を示しています。
また、無解答率も確認できます。

資料の見方

選択問題における反応率の
3つの典型的なパターン
「逆転」「接近」「分散」に該当する
場合は表示されます。

誤答分析シート

標準学力調査 小学校5年 算数 誤答分析シート

〇〇立〇小学校 5年1組 令和〇〇年度

【検内】	問題番号	問題内容	出題の意図	正答率	誤答率	誤答率(誤答番号) 割合				無解答率	誤答タイプ
						1	2	3	4		
1	(1)	計算	小数の計算(小数点の移動)	77.7	22.3	0.0	0.0	0.0	0.0	22.3	0.0
2	(2)	計算	小数の計算(小数点の移動)	61.3	38.7	0.0	0.0	0.0	0.0	38.7	0.0
3	(3)	計算	小数の計算(小数点の移動)	54.2	45.8	0.0	0.0	0.0	0.0	45.8	0.0
4	(4)	計算	小数の計算(小数点の移動)	72.8	27.2	0.0	0.0	0.0	0.0	27.2	0.0
5	(5)	計算	小数の計算(小数点の移動)	79.2	20.8	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8	0.0
6	(6)	計算	小数の計算(小数点の移動)	59.8	40.2	0.0	0.0	0.0	0.0	40.2	0.0
7	(7)	計算	小数の計算(小数点の移動)	67.7	32.3	0.0	0.0	0.0	0.0	32.3	0.0
8	(8)	計算	小数の計算(小数点の移動)	61.3	38.7	0.0	0.0	0.0	0.0	38.7	0.0
9	(9)	計算	小数の計算(小数点の移動)	54.2	45.8	0.0	0.0	0.0	0.0	45.8	0.0
10	(10)	計算	小数の計算(小数点の移動)	79.2	20.8	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8	0.0
11	(11)	計算	小数の計算(小数点の移動)	55.2	44.8	2.1	2.1	0.0	0.0	44.8	0.0
12	(12)	計算	小数の計算(小数点の移動)	79.2	20.8	1.0	1.0	0.0	0.0	20.8	0.0
13	(13)	計算	小数の計算(小数点の移動)	73.0	27.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.0	0.0
14	(14)	計算	小数の計算(小数点の移動)	59.4	40.6	0.0	0.0	0.0	0.0	40.6	0.0
15	(15)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	0.0	0.0	0.0	0.0	43.4	0.0
16	(16)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
17	(17)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
18	(18)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
19	(19)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
20	(20)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
21	(21)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
22	(22)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
23	(23)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
24	(24)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
25	(25)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
26	(26)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
27	(27)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
28	(28)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
29	(29)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
30	(30)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
31	(31)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
32	(32)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
33	(33)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
34	(34)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
35	(35)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
36	(36)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
37	(37)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
38	(38)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
39	(39)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
40	(40)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
41	(41)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
42	(42)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
43	(43)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
44	(44)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0
45	(45)	計算	小数の計算(小数点の移動)	56.6	43.4	1.4	1.4	0.0	0.0	43.4	0.0

記述問題等解答類型一覧

標準学力調査 小学校5年 算数 記述問題等解答類型一覧

〇〇立〇小学校 5年1組 令和〇〇年度

演習番号	問題番号	問題内容	出題の意図	正答率(正答番号)	誤答率(誤答番号)	解答類型(誤答)			
						1	2	3	4
4	(4)	小題一問一問の計算ができる。	1. 6	1. 6	0.0	0.0	0.0	0.0	
5	(5)	小題二問二問の計算ができる。	1. 5	1. 5	0.0	0.0	0.0	0.0	
10	(10)	計算表上にある百分率を読み取る事ができる。	1. 2/(3/4/5/6)	1. 2	1. 2	0.0	0.0	0.0	
12	(12)	正方形の面積を求めることができる。	25/(cm ²)	25	25	0.0	0.0	0.0	
14	(14)	図再帰の対角線の性質を理解している。	3	3	0.0	0.0	0.0	0.0	
18	(18)	折れ線グラフの傾きから変り方を読み取る事ができる。	5	5	0.0	0.0	0.0	0.0	
33	(33)	与った異なる二つの数量の関係式に表すことができる。	1. 5/6/7/8/9/10	1. 5	1. 5	0.0	0.0	0.0	
38	(38)	傾きと速いの関係を理解することができる。	1. 1	1. 1	0.0	0.0	0.0	0.0	
38	(38)	二次方程式の解法が、解法の手順を正しく理解している。	1. 1	1. 1	0.0	0.0	0.0	0.0	

資料の見方
記述問題等の解答類型の内容と、その類型ごとの反応率を示しています。
無解答率も確認できます。

これらの資料から、児童・生徒の書いた答案を具体的にイメージできます。
「このクラスは、計算問題はよくできているが、事象の説明は類型2が多いから、あと一歩深く理解させたいな。」のように、指導方針に活かすことができます。

※各種個人別帳票には、児童・生徒が書いた名前が掲載されます。プライバシーに配慮し、個人名を記載しない方法も可能です。



「段階評価方式」の学力調査で ～子供たちの「自ら学びに向かう力」を育成する

学習指導要領で育成が求められる資質・能力の一つに「学びに向かう力」があります。

変化が激しく予測が困難な現代社会では、子供たちが主体的に学ぶ学習者として成長していくことが強く求められて「学びに向かう力」でキーワードになるのは「自己調整力」です。

自らの学習状況を把握し、学習の進め方を試行錯誤しながら調整していく力は、自律した学習習慣を確立する上で重子供たち自身が、“自分は何がわかっていて、何がわからないのか”を知り、“何をどう勉強したらいいのか”を自分で判断そこで、東京書籍は、子供たちが理解の状況を客観的に認識し、次の学習活動の見通しをもつことができる、新しい評価

子供たちの
こんな悩みを
解決したい!

何が
わからないのか、
わからない…

結局、何を
勉強したらいいのか、
わからない…



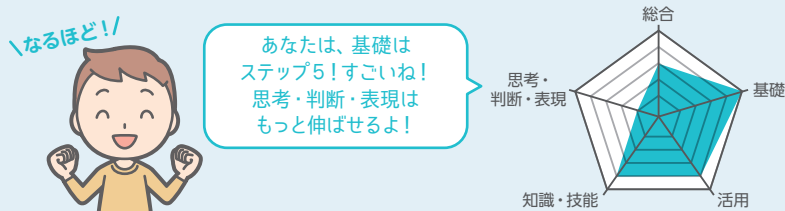
「段階評価方式」での新しい学力調査

1 新しい学力指標「ステップ」

「ステップ」は、最新のテスト理論をベースにした
5段階の“新しい学力のものさし”です。



さらに、学力を4つのカテゴリーに分け、それぞれをステップで測ります。



学力を「ステップ」でとらえることで、
自らの得意・不得意を認識することができます。

「段階評価方式」のメリット

- 1 「潜在ランク理論 (LRT)」をベースにすることで、問題の難易度と一人ひとりの正答・誤答のパターンを反映した子供の学力を、段階的に表すことができます。正答率は「全問題数のうち何問正解できたか」という考え方で表される指標ですので、難しい問題に正解しても易しい問題に正解しても、正答率にその差異は反映されません。「段階評価方式」では、どの問題を解くことができ、どの問題を間違えてしまったのかを分析することにより、その差異を明らかにします。

子供たちに新しい学びを!

視点に立って開発した新しい評価方式～

います。

要です。

していくことに、学力向上のカギがあるといえます。

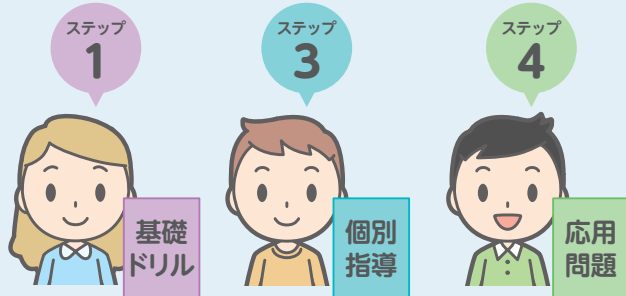
方式「段階評価方式」を開発しました。

新しい学力指標「段階評価方式」とは?

東京書籍が学力調査の評価方式として新しく開発した「段階評価方式」とは、学力を5段階の「ステップ」に順序づけて分類する方法です。最新のテスト理論である「潜在ランク理論 (LRT: Latent Rank Theory)」に基づいて設計しており、ステップ間における学力の質的な差異を浮き彫りにすることができます。

2 個別最適化した「ステップアップ」

一人ひとりの子供の「ステップ」に合った
学力向上の手立てが得られます。



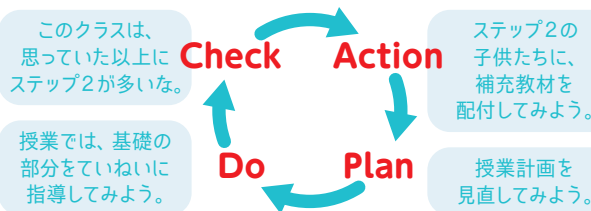
自分のステップに応じた
学習ができるから、
勉強がわかる!



自分のステップに合った学習内容や方法を見つけ、
学びに取り組むことが学力向上の近道です。

3 より良い授業づくりが可能に

集団 (クラス、学校) の学力を「ステップ」で
とらえることで、その後の授業設計に役立ちます。



子供たちに寄りそったPDCAを実現することにより、
よりわかりやすい授業が可能になります。

わからなかったところが
わかるようになった!

勉強が楽しくなった!
もっと学びたい!



子供たちの「ステップ」をもとに、学力を伸ばす
カリキュラムマネジメントが実現できます。

2 正答率の1ポイント、2ポイントの違い (差) について、学力の質的な意味に言及することはなかなか困難です。その点、「段階評価方式」では、子供が到達している学力段階を明確に切り分けて示すことができます。「段階評価方式」を使うことで、各ステップの学力段階から、次のステップに上がるための学びの目標が見えやすくなります。「新しい学力のものさし」で見えてくる学力段階は、授業づくりを通して集団全体のステップアップを目指すための指針となります。

「段階評価方式」の結果資料の例

ステップ別人数比(全体)

標準学力調査+ 学校全体表〔達成率・ステップ別人数比〕 ○○立○小学校 令和○○年度

学年	評価	国語					社会					算数					理科					英語											
		達成率	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	達成率	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	達成率	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	達成率	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	達成率	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4							
2年	校内	74.9	8.3	16.8	32.0	23.0	19.9					88.6	2.3	9.1	29.5	40.9	18.2																
	前年度 校内	88.8	2.0	11.3	20.5	29.1	37.1					85.7	0.0	14.3	42.9	35.7	7.1																
	市町村	88.4	3.6	8.0	33.9	26.8	27.7				△	88.4	3.6	8.0	33.0	40.2	15.2																
	前年度 市町村	84.4	1.1	14.4	23.3	38.9	22.2					83.2	4.1	12.7	23.2	32.5	27.5																
3年	校内	80.7	5.1	14.2	29.2	30.1	21.4																										
	前年度 校内	85.3	4.4	10.3	29.4	42.6	13.2					88.2	0.0	11.8	13.2	47.1	27.9																
	市町村	△	81.2	3.6	15.2	27.4	39.2	14.6				△	81.4	4.6	14.1	24.4	37.9	19.0															
	前年度 市町村	82.1	4.1	13.9	22.3	36.7	23.0				△	80.8	0.0	8.4	16.7	49.0	25.0																
4年	校内	83.5	4.2	12.5	30.2	34.4	18.8																										
	前年度 校内	84.4	4.9	10.9	29.7	35.9	18.8	71.9	4.7	23.4	21.9	34.4	15.6	79.7	6.3	14.1	28.1	43.8	7.8	70.3	7.8	20.4	21.1	37.0	20.4	81.8	1.8	16.4	41.8	27.3	12.7		
	市町村	△	83.5	3.7	12.8	24.3	32.2	26.0	72.3	4.6	23.1	18.5	36.9	16.9	79.1	6.1	14.8	25.2	25.2	28.7	70.3	12.2	20.4	21.1	37.0	20.4	77.4	8.6	14.0	24.7	25.8	26.9	
	前年度 市町村	83.8	3.0	13.2	25.4	38.3	20.1	71.9	3.1	25.0	22.9	35.4	13.5	78.1	6.3	15.6	34.4	35.4	8.3	75.0	5.2	14.8	21.1	37.0	20.4	76.4	7.3	16.4	27.3	34.5	14.5	17.0	
5年	校内	75.4	5.9	16.7	28.9	30.3	16.3																										
	前年度 校内	82.9	4.9	12.7	25.6	29.3	28.0	62.2	15.9	22.0	25.6	34.1	2.4	68.3	11.0	20.7	28.0	25.6	14.6	75.6	7.3	17.1	29.3	32.9	13.4	77.4	8.6	14.0	24.7	25.8	26.9		
	市町村	△	80.9	5.5	13.6	22.7	33.6	24.5	68.9	12.2	18.9	30.0	26.7	12.2	67.6	9.6	22.8	23.5	27.2	16.9	73.3	8.1	18.6	27.9	27.9	17.4	76.4	7.3	16.4	27.3	34.5	14.5	17.0
	前年度 市町村	77.6	6.1	16.3	30.6	32.7	14.3	72.1	8.8	19.1	25.1	32.4	14.6	71.5	8.9	19.6	26.5	30.7	14.3	68.0	9.4	22.6	27.9	27.9	12.3	75.4	7.7	16.8	26.1	27.6	21.8		
6年	校内	76.0	6.3	17.7	26.4	33.5	16.1																										
	前年度 校内	81.8	1.8	16.4	41.8	27.3	12.7	87.3	0.0	12.7	21.8	50.9	14.5	74.1	5.6	20.4	40.7	27.8	5.6	81.5	3.7	14.8	24.1	37.0	20.4	69.4	9.7	20.9	29.7	25.9	13.8		
	市町村	△	79.7	4.7	15.5	24.6	28.4	26.7	80.4	5.6	13.9	29.2	36.3	15.0	77.4	5.7	17.0	30.2	32.1	15.1	80.2	4.5	15.3	27.1	34.2	18.9	78.2	6.0	15.8	24.6	32.9	20.7	
	前年度 市町村	84.7	1.2	14.1	37.6	29.4	17.6	87.1	1.2	11.8	22.4	48.2	16.5	79.6	3.6	17.9	40.5	31.0	7.1	83.3	2.4	14.3	27.4	36.9	19.0	83.3	4.2	12.5	30.2	34.4	18.8		
全国	73.3	6.2	14.5	28.8	37.3	13.4	79.1	4.9	16.0	25.5	35.7	17.9	75.0	3.3	21.7	25.0	28.3	21.7	78.9	5.9	15.2	30.8	28.5	19.8	79.5	3.9	16.8	26.4	34.7	18.4			
全国	73.3	6.2	14.5	28.8	37.3	13.4	75.2	7.5	17.3	24.8	33.3	17.1	70.5	6.8	22.7	27.6	27.8	15.0	67.0	9.6	23.4	28.1	26.6	12.3	70.4	5.9	18.7	28.9	30.3	16.3			

※達成率は、ステップ3・4・5の割合を示しています。
※評価の記号は、全国の達成率に対し、『△』…上回っている、『○』…同程度、『▽』…下回っているを表しています。

資料の見方
教科ごとの「ステップ(学習到達段階)」の人数比と達成率を示しています。
※「段階評価方式」での達成率は、ステップ5+ステップ4+ステップ3の割合です。

ステップ別人数比(教科)

標準学力調査+ 小学校5年 算数 212531010 教科概要 ○○立○小学校 第5学年 令和○○年度

★高計結果

	平均正答率	中央値
校内	65.1	67.1
市町村	64.9	67.1
全国	67.3	71.4

★カテゴリ別正答率

分類	区分	平均正答率
教科全体	校内	65.1
	市町村	64.9
基礎・基礎	校内	70.7
	市町村	70.6
活用	校内	55.4
	市町村	55.2
観点	知識・技能	69.6
	思考・判断・表現	53.8
	主体的に学習に取り組む態度	54.7
領域	数と計算	70.2
	図形	48.5
	変化と関係	67.1
	データの活用	57.7
解答形式	選択	68.0
	短答	68.3
	記述	14.0

★正答率の比較
【教科全体・基礎・活用】

【観点】 ■校内 ■市町村 ■全国

★標準スコアによるカテゴリ間比較(各カテゴリの値は、全国平均を50とした場合の標準スコアを表します)

★カテゴリごとのステップ別人数比

カテゴリ	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	ステップ5	達成率
教科全体	11.0	20.7	28.0	25.6	14.6	68.3
基礎	18.3	19.5	18.3	19.5	24.4	62.2
活用	19.5	17.1	12.2	25.6	25.6	63.4
知識・技能	17.1	18.3	20.7	18.3	25.6	64.6
思考・判断・表現	15.9	19.5	26.8	13.4	24.4	64.6

資料の見方
[基礎]
[活用]
[知識・技能]
[思考・判断・表現]
の4つのカテゴリごとの「ステップ別人数比」を示しています。

これらの資料から、正答率だけでは読み取ることができない「集団の特徴」をつかむことができます。
「このクラスは、ステップ3以下の割合が大きい。」
「基礎は定着しているが、活用はまだ伸びしろがある。」
のように、集団の学力の特徴をより多角的にとらえることができます。

標準学力調査の個人票

目標標準拠評価方式

全受検教科の結果状況が一覧できる表とグラフを示しています。

あなたの結果

〇〇小学校 6年1組1番 児童の名前
児童のみごさんへ

この結果は、あなたの修業で学習したことが、どれくらい身についているかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を讀んで学習しておきましょう。友の「基礎」(きそ)は、各教科で必ず身につけてほしい大事なことからこの調査です。「活用」(かっぴょう)の力を使って、日常生活のさまざまな問題を解決する問題です。

教科別正答率(%)

教科	教科別割合		校内平均	基礎		活用	
	あなた	目標値		あなた	目標値	あなた	目標値
国語	65.4	61.3	67.8	55.6	65.3	87.5	52.5
社会	57.1	62.9	53.4	55.6	65.9	68.0	52.0
算数	71.9	67.0	72.4	70.8	71.5	75.0	53.8
理科	60.0	64.3	67.0	71.4	70.0	33.3	51.1
英語	97.4	91.6	84.5	96.7	82.0	100.0	60.5

総合正答率 65.4 61.3

小学校6年国語

問題の内容	あなた		目標値	評価
	あなた	目標値		
図・表の内容を読み取る	66.7	70.0	○	
漢字を覚える	100.0	87.7	○	
漢字を書く	66.7	58.3	○	
文章の読み取る	66.0	52.0	○	
問題の内容を読み取る	100.0	65.0	○	
図・表の内容を読み取る	58.3	51.7	▲	
漢字を書く	100.0	57.0	▲	
文章を書く	25.0	56.8	▲	

総合 65.4 61.3

小学校6年社会

問題の内容	あなた		目標値	評価
	あなた	目標値		
世界の国や地域	33.3	63.3	▲	
日本の国土や人口	33.3	53.3	▲	
日本の産業	0.0	72.5	▲	
日本の文化	50.0	55.0	○	
日本の自然環境	75.0	60.0	○	
自然環境と共生生活	100.0	63.3	○	
日本の産業や文化	0.0	58.8	▲	
自然環境と共生生活	100.0	73.3	○	

総合 57.1 62.9

小学校6年算数

問題の内容	あなた		目標値	評価
	あなた	目標値		
数の読み取り	33.3	65.0	○	
分数の計算	66.7	63.3	○	
小数の計算	100.0	65.0	○	
分数の計算	100.0	75.0	○	
多角形と円	50.0	77.5	○	
図形	33.3	58.3	▲	
図形と図形	100.0	75.0	○	
図形と図形	100.0	64.0	○	
割合	100.0	62.5	○	
円グラフや棒グラフ	33.3	65.0	○	

総合 71.9 67.0

小学校6年理科

問題の内容	あなた		目標値	評価
	あなた	目標値		
天体の変化	66.7	70.0	○	
植物の観察と成長	33.3	60.0	▲	
動物の観察	100.0	35.0	○	
植物の観察と成長	66.7	60.0	○	
動物の観察	66.7	51.7	○	
人の生活とよう	100.0	80.0	○	
身のまわりの	66.7	48.3	○	
物のとけ方	33.3	53.3	○	
植物の観察	25.0	52.0	▲	
身のまわりの	50.0	47.5	○	

総合 60.0 64.3

小学校6年英語(A)

問題の内容	あなた		目標値	評価
	あなた	目標値		
単語の読み取り	85.7	83.0	○	
アルファベットの読み取り	100.0	85.0	○	
アルファベットの書き取り	100.0	76.7	○	
日本語の読み取り	100.0	83.3	○	
英語の読み取り	100.0	77.0	○	
アルファベットの書き	100.0	81.7	○	
単語の読み取り	100.0	71.7	○	
英語の読み取り	100.0	87.0	○	

総合 97.4 91.6

復習を手助けできるように、具体的な「学習のアドバイス」を載せています。

フォローアップシートにリンクしたQRコードを載せています。詳しくは P.24~25 へ

各教科における学習到達段階を「ステップ」で表しています。

段階評価方式

ステップ図では、それぞれの教科がどのステップに到達しているのかを表しています。ステップ3を達成ラインとしています。

各教科のステップと問題の内容ごとの結果をもとに、子供たち自身が日々の学習で何をすべきか、学力UPのためのアドバイスを伝えます。

「基礎」「活用」「知識・技能」「思考・判断・表現」の4つのカテゴリーについて、教科ごとに児童・生徒の学力をレーダーチャートで視覚的に表現しています。

あなたの結果

総合ステップ

教科	ステップ	あなた	校内平均
国語	4	80.8%	77.7%
社会	5	82.1%	71.8%
算数	3	68.8%	74.6%
理科	2	46.7%	75.3%
英語	4	90.2%	88.0%

小学校6年国語

問題の内容	あなた	問題数
図・表の内容を読み取る	3	3
漢字を覚える	3	3
漢字を書く	2	2
文章の読み取る	4	4
文章を書く	3	3
図・表の内容を読み取る	2	4
漢字を書く	2	4
文章を書く	1	3

小学校6年社会

問題の内容	あなた	問題数
世界の国や地域	3	3
日本の国土や人口	3	3
日本の産業	2	2
日本の文化	3	3
日本の自然環境	2	4
自然環境と共生生活	3	4
日本の産業や文化	1	3

小学校6年算数

問題の内容	あなた	問題数
数の読み取り	2	3
分数の計算	3	3
小数の計算	4	4
多角形と円	2	2
図形	3	4
図形と図形	1	3
図形と図形	3	5
割合	0	2
円グラフや棒グラフ	1	3

小学校6年理科

問題の内容	あなた	問題数
天体の変化	4	4
植物の観察と成長	2	2
動物の観察	3	3
植物の観察と成長	3	3
動物の観察	3	3
人の生活とよう	3	3
身のまわりの	3	3
物のとけ方	3	3
植物の観察	2	2
身のまわりの	3	3

小学校6年英語(A)

問題の内容	あなた	問題数
単語の読み取り	5	5
アルファベットの読み取り	5	5
アルファベットの書き	5	5
日本語の読み取り	5	5
英語の読み取り	5	5
アルファベットの書き	5	5
単語の読み取り	5	5
英語の読み取り	5	5

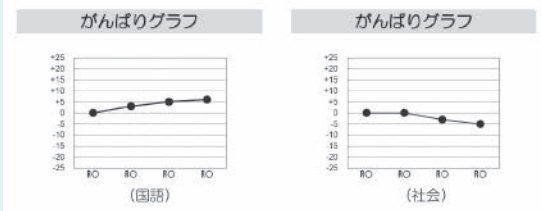
フォローアップシートにリンクしたQRコードを載せています。詳しくは P.24~25 へ

個人経年比較

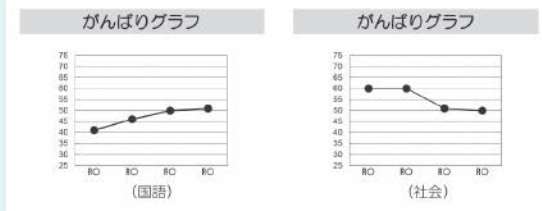
オプションで個人票に、これまでの調査結果を表示する「がんばりグラフ」を用意しました。一人ひとりの調査結果の推移がわかります。

※個人経年比較資料をご希望される場合、通常の結果資料作成に加えて数日いただきます。
※本サービスの提供には、別途オプション料金1人あたり53円(税込)をいただきます。

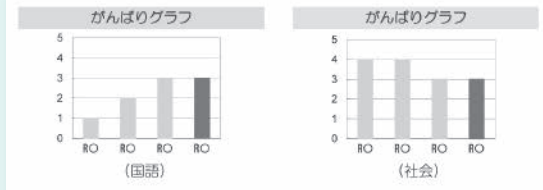
自己内評価



相対評価



ステップ評価 (段階評価方式のみ)



個人票の裏面

個人票の裏面には、児童・生徒や保護者用に「個人票の見方」を示しています。

個人票の見方

こじんのよう みかた 児童・保護者の方へ

個人票の裏面には、児童・生徒や保護者用に「個人票の見方」を示しています。

この調査は、ふだんの授業で学習したことが、どれくらい身についているかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を読んで復習してください。

左の表の「基礎(まそ)」は、各教科で必ず身につけてほしい大事なことから選んでいます。「活用」は、「基礎」の力をを使って、日常生活のさまざまな問題を解決する問題です。

教科	あなた		教科平均	基礎		活用	
	正答率(%)	目標値		あなた	目標値	あなた	目標値
国語	84.5	68.4	67.7	87.5	71.3	70.0	55.0
社会	61.1	64.1	53.4	61.4	66.6	60.0	53.0
算数	76.3	63.9	67.0	81.3	66.9	50.0	48.3
理科	72.7	66.4	57.8	69.2	68.3	85.7	59.3
英語	75.6	82.9	79.0	77.4	82.4	70.0	84.5

※目標値は、学習指導要領に基づいて設定している学習到達目標を指します。

1 この調査は、ふだんの授業で学習したことが、どれくらい身についているかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を読んで復習してください。左の表の「基礎(まそ)」は、各教科で必ず身につけてほしい大事なことから選んでいます。「活用」は、「基礎」の力をを使って、日常生活のさまざまな問題を解決する問題です。

2 この調査は、ふだんの授業で学習したことが、どれくらい身についているかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を読んで復習してください。左の表の「基礎(まそ)」は、各教科で必ず身につけてほしい大事なことから選んでいます。「活用」は、「基礎」の力をを使って、日常生活のさまざまな問題を解決する問題です。

3 小学校5年国語 「国語」の基礎は、目標値を達成して以下の3段階で表しています。○…目標値を達成している ○…目標値を達成していない ○…目標値を達成していない

4 基礎はよいできました。基本的なことは身につけています。下のアドバイスを読んで、さらに力を伸ばしましょう。

5 基礎はよいできました。基本的なことは身につけています。下のアドバイスを読んで、さらに力を伸ばしましょう。

6 やってみよう！フォローアップシート QRコードをプリントアウトしてやってみよう。

※フォローアップシートの使用料はかかりませんが、通信費は自己負担となります。

注目

英語も充実のラインナップ 英語特集

新学習指導要領の全面実施に合わせて、標準学力調査に小学校英語が加わりました。小学校・中学校ともに、「聞く」「読む」「書く」の3技能からバランスよく出題し、リスニング問題と筆記問題で構成しています。

小学校英語

小学校英語の学習内容について定着状況を確認し、つまづきやすい課題を明らかにすることによって、小中の接続をスムーズにします。

3 これから、アルファベットを言います。そのアルファベットを、
(1)と(2)は大文字で、(3)と(4)は小文字でそれぞれ書きましょう。

アルファベットの読み方を聞いてアルファベットを書く問題では、結果資料に誤答類型を載せています。誤答を主に以下の4つのパターンに分類し、誤答の原因を明らかにします。

- ①大文字と小文字の書き間違い
- ②4線上の位置の間違い
- ③読み方の似た文字との間違い
- ④形の似た文字との間違い

身近なやり取りの場面や、発表学習の場面を通して、具体的な情報を聞き取る力、概要を捉える力を測ります。

8 これから、はるかがアルバムを見せながら、夏休みの思い出について発表します。その英文をよく聞いて、はるかがアルバムで使った写真を下の1～5から3つ選んで、その番号を書きましょう。

聞く

10 次の絵にあてはまる英語を、右の1～4から1つずつ選んで、その番号を書きましょう。

1 carrot
2 corn
3 onion
4 potato

音声で十分に慣れ親しんだ言葉を読むことができるかを問う問題です。小学校6年生の3学期版以降では、音声を聞きながら英文を読み、内容の理解を問う問題も出題しています。

読む

11 次の絵の内容に合うように、あとの①、②に入る言葉を、それぞれから正しい順序で選んで、英文を完成させましょう。答えは、ア～ウの記号で書きましょう。

ア oranges イ apples ウ like

I ① _____ ② _____.

書く問題では、キーワードとなる英語を書き写したり、例文や語群を参考にしながら、自分の気持ちや考えを表現したりする問題を出題します。

小学校6年生の3学期版以降では、語順の理解を問う問題を出題しています。

解答用紙には、第2線と第3線の間が広い4線を採用。小文字も書きやすい仕様です。

_____ is from _____.

_____ is good at _____.

13 いくつかの国の友だちが集まって、おたがいの出身国と得意なスポーツを紹介することになりました。次の資料の中から好きな人物を1人選び、【例】にならって、その人を紹介する英文を完成させましょう。2文目のはじめの言葉は、HeかSheを選んで書きましょう。【例】で使っている人は選べません。

友だちの紹介文

【例】 Akira is from Japan.
He is good at karate.

_____ is from _____.

[He/She] is good at _____.

男子の友だち		女子の友だち	
【例】 Akira Japan karate		Bella Germany soccer	
Hui China table tennis		Deepa India badminton	

書く

中学校英語

学習指導要領に基づき、基礎的な学力の定着を確認しながら、全国学力・学習状況調査などにも対応できる問題形式です。

「話すこと」の技能は標準学力調査の商品の一つである、「英語スピーキング調査」で測ることができます。詳しくはP.21へ!➡

3 英語の授業で、ある生徒が自分の家族について、次の3枚の写真を見せながら発表します。生徒はア、イ、ウ、オのような順番で見せてしょうか。正しい順番を、あとの1~4から1つ選びなさい。英文は2回くり返します。

ア イ ウ オ

1 イーウア
2 イーアウ
3 ウーアイ
4 ウーイア

4 日本でホームステイ中の女子中学生ジェーンは、学校の英語科と習字科に興味を持っています。これから、明鏡先生のマリスがジェーンに話している様子について説明します。マリスが一番伝えたいことはどのようなことですか。最も適切なものを、あとの1~4から1つ選びなさい。英文は3回くり返します。

1 Judo is a good Japanese sport.
2 Jane can learn judo from Yumi.
3 We play baseball with nine players.
4 Let's play baseball.

スピーチや留学生との交流など、実際に生徒が英語を使用する場面の問題を設定し、問題を解く目的や必要性を感じられるような出題を意識しています。

リスニングの問題では、「必要な情報を聞き取ることができる」「話の概要を捉えることができる」「説明の要点を捉えることができる」などの力を測る問題を新たに出題しています。

※リスニングでは、問題形式により、繰り返しありの問題と繰り返しなしの問題があります。

こと

こと

6 次の(1)と(2)の間に答えなさい。

(1) 次の①~④の対話文が成り立つように、()に入る最も適切なものを、あとの1~4から1つずつ選びなさい。

① A: What () Emily looking at?
B: She's looking at that picture. It's very beautiful.
1 do 2 does 3 are 4 is

② A: Can Bob () basketball well?
B: Yes. He practices every day.
1 play 2 plays 3 playing 4 is playing

7 次の(1)~(3)の間に答えなさい。

(1) テッドの家族はイモを育てることに決めています。テッドの家族のもとに、黒いイモを育てるために、ポットショップ(pot shop)で白いイモと黒いイモをそれぞれ買いました。最も適切なものを、あとの1~4から1つ選びなさい。

My family and I like dogs very much. We want a dog. My mother and I want a black dog, but my father and my sister want a white one. And we "all like small dogs. We "all go to a pet shop and look at them.

(2) "all 全員 "all 一そろそろ

1 アロイ 2 アロク 3 イロキ 4 ウロキ

「読むこと」の活用問題では図や表などの情報を関連づけて、より生徒たちが考えて問題を解くような工夫をしています。

文法問題(読むこと)や語順整序問題(書くこと)などで基礎的な学力の定着を確認します。

こと

9 次の対話文の横線の直る文になるように、()内の語を正しく並べかえて書きなさい。ただし、文頭にくるものも小文字になっています。

(1) A: (you / could / the window / open?)
B: OK.

(2) A: (studying / sister / is / your / now?)
B: Yes. She studies English every evening.

11 あなたは、アメリカからの留学生に、あなたの友達(女子)を次の(1)から(3)の情報をもとに紹介することになりました。これらの情報を用いて、その友達について紹介する英文をそれぞれ書きなさい。

(1) 部活	judo club
(2) 好きな教科	math
(3) サッカー(soccer)ができるかどうか できる(○)できない(x)	○

英作文では、小学校の「例文や語群を参考に書くこと」との系統性を重視し、「自分で文章を組み立てて書くこと」へと、レベルを上げた出題をしています。

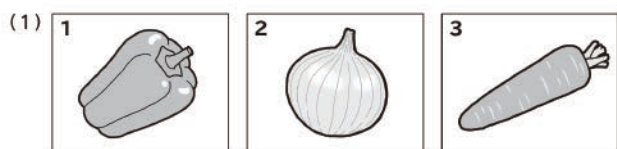
全国学力・学習状況調査タイプの問題も出題するなど、様々なタイプの問題に対応する力を測ることができます。

Let's
Listen!

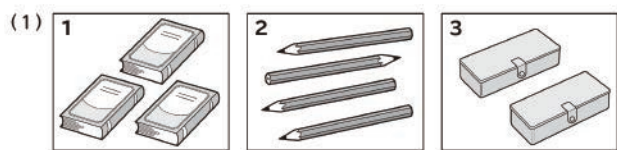
小学校5年生 英語調査 「レッツ リッスン！」

文部科学省発行の小学校英語教材「Let's Try!」に対応した内容の評価テストです。
小学校中学年までの基礎固めをしっかりとすることで、高学年での学習につなげます。

1 これから、いくつかのことばを言います。そのことばにあてはまる絵を、次の**1～3**から1つずつ選んで、その番号を書きましょう。●●●●●●●●●●



3 これから、英語で質問をします。その質問の答えとなるものはどれですか。次の**1～3**から1つずつ選んで、その番号を書きましょう。●●●●



まず、身近な単語の聞き取り問題から始まり、その後、日常場面を想定した対話の聞き取り問題があります。あいさつ、やり取り、自己紹介など、基本的な英語の理解を確認します。

アルファベットの聞き取り問題では、文字と読み方の結びつきを確認します。

2 これから、いくつかのアルファベットを言います。そのアルファベットを、次の**1～3**から1つずつ選んで、その番号を書きましょう。●●●●●●

(1) **1** E **2** F **3** H

「レッツ リッスン！」の特長

● 文部科学省教材「Let's Try!」に対応

文部科学省 外国語活動教材「Let's Try!」に完全準拠した内容です。小学校3・4年生で学習した内容から網羅的に出題しています。

● 「できる」「楽しい」が実感できる

イラストが豊富で、はじめて英語のテストを受ける子供たちでも安心してご実施いただけます。

● 問題はすべてリスニング方式

すべて音声CDによる聞き取り問題です。また、すべて選択肢式となっており、子供たちにとって取り組みやすい内容となっています。

● 定着状況が確認できる結果資料

先生用の資料では、子供たちの苦手な内容や、どのような間違いをしているのかを具体的に把握することができ、今後の指導に活かせます。

商品の概要

- **実施学年・時期**：小学校5年生・1学期実施
- **実施方法**：すべて音声CDによる聞き取り問題
- **問題数**：全38問
- **販売価格**：1人あたり390円（税込）
- **実施時間**：20分程度
- **出題範囲**：「Let's Try! 1・2」の全範囲
- **解答形式**：すべて選択問題

Let's
Speak
English!

中学校英語 「英語スピーキング調査」

英語の4技能の1つである「話すこと」の力を正しく測ることのできる調査です。

平成31年度 全国学力・学習状況調査で出題された、「質疑応答」、「やり取り」、「スピーチ」の出題に加え、発音等の正しさを測る「音読」の問題（「読むこと」の評価）も出題します。

やり取りの問題では、提示された状況に即興で対応する「生きた英語力」を問います。

やり取りの問題



あなたの番です。ブラウン先生に、英語でインタビューしてください。

音読の問題



大問1

それでは、マイクに向かってはっきりとした声で音読してください。解答時間は1分です。

It's Sunday afternoon.
A dog is walking in the park.
The dog sees a very cute cat.
A girl comes and plays her guitar for them.
The dog really enjoys her beautiful music.

音読の判定は、人間の判断ではぶれが生じてしまいがちです。この調査では、音声解析技術を使い、公平な判定を行います。

「英語スピーキング調査」の特長

●英語の4技能をトータルで評価

標準学力調査と同時に実施していただくことで、聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと [やり取り] [発表] を網羅的に評価できます。

●学校の負担が少ないCBT調査

この調査は、送付のUSBメモリを学校の各PCに差し込んだまま実施します。また、実施後には、そのUSBメモリを返送するだけなので、準備や返送の負担が少ない調査です。

●すべての教科書に準拠

この調査で扱われる単語、文法は、現在使用されているすべての教科書に準拠しています。未学習の単語や文法に戸惑うことなく、日々の学習の成果を測ることができます。

●実績のあるCBTシステム「TAO」を採用

「TAO」は、国内外での大規模調査で実績のあるCBTシステムです。シンプルな操作で受検することができるので、PCの操作に不慣れな生徒も安心して受検できます。

商品の概要

- 実施学年：〔1学期実施版〕中学校2、3年生 〔3学期実施版〕中学校1、2年生
- 実施方法・時間：1グループ（20人程度）につき、20～25分程度
- 解答形式：PCに差し込んだヘッドセットを使用した口述式
- 問題数：全8問（音読：1問、質疑応答：5問、やり取り：1問、スピーチ：1問）
- 販売価格：1人あたり1,650円（税込）

※ご実施いただくためには、使用するPCが一定の条件を満たしている必要があります。詳しくは担当者にお問い合わせください。

※問題はサンプルです。※仕様等は、予告なく変更することがあります。 21



Web 評価支援システム

基本使用料無料 (一部機能有料)

紙の帳票だけでは手が届かないところを

Web でサポート!!

基本使用料
無料

結果資料の内容と機能が充実! 分析力UP!

自校の結果資料を Web で確認して細かく分析することができます。



紙の資料のみの場合

細かいデータを読み解いていくのは大変!

この問題、どこで間違ってしまったのかな?



たくさんの紙の資料は、見直しや管理が大変!

以前の調査との比較検討をしたいけれど...

せっきくの資料、もっと活用できないかな?



Web 評価支援システムなら

クリックひとつで結果を把握。
実際の答案も確認でき、**誤答分析に役立ちます。**



Web 上で、**経年資料の閲覧・共有も簡単に。**
資料をより活用できるようになりました。



実際の画面

大問番号19(1) 通し番号30 の問題詳細

19 まささん、はるどうん、みゆさんは、1組、2組、3組の計でじゃがいもを買った。詳しくは、

下の表は、それぞれのクラスの人数と、1m²あたりじゃがいもがいくつ収穫されたかを表しています。

組	人数(人)	じゃがいもの重さ(kg)
1組	20	40
2組	15	36
3組	20	?

誤答

(ア) 2 (組)
(例) $40 \div 20 = 2$
2組は、 $36 \div 15 = 2.4$ となります。だから、1組は2kg、2組は2.4kgで、2組のほつが 1m^2 あたりとれたじゃがいもの量が多いためです。(完全)

解答類型 (定義)	解答番号	正解	反応率	誤答理由
正答	1	○	37.9%	確認
(ア) に 1 (組) と書いているが、正しく計算をしていない理由【単位量あたりの大きさの大小関係を間違えている】	2	×	1.5%	確認
上記以外の解答	9	×	59.3%	確認
無解答	0	×	1.3%	

誤答別反応率

属性

問題の内容	領域	出題のねらい	観点
単位の換算を求め、1m ² あたりじゃがいもがいくつ収穫されたかを求め、それぞれのクラスのじゃがいもの量がどのくらい多いかを比較することができる。	量と測定		関 考 技 知

正答率比較

目標値	校内平均	全国平均



「確認」をクリックすると、
自校の児童・生徒の実際の解答を
表示することができます。

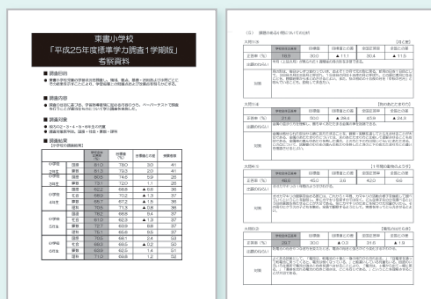
ア | 1 | 組
1組は、40kg、2組は36kg、よってじゃがいもが
多くとれたのは1組の方が多いです。

分析レポート（考察資料）で課題抽出をサポート

オプション
1学年1教科
5,500円
(税込)

指導計画やレポートなどにご利用いただける2種類の資料をご用意します。

A
(エクセル形式)



B
(PDF形式)



個別最適化された事後復習教材をダウンロード

800種類以上の教材が
無料で
ご使用いただけます！
(全学年・全教科の総数)

事後復習教材は、個々の児童・生徒に合わせた教材です。
一人ひとりの課題に応じた教材をダウンロードすることができます。

2種類の教材で
苦手を克服!

①フォローアップワークシート

②たしかめドリル

①フォローアップワークシートで苦手な内容の要点を確認し、②たしかめドリルで繰り返し問題を解くことで、効率的に学習内容の定着を図ることができます。



紙の資料のみの場合

結果資料から、個人別の課題を分析し、
教材を準備する必要がありました。

一人ひとりの
課題まで
手がまわらないな...



Web評価支援システムなら

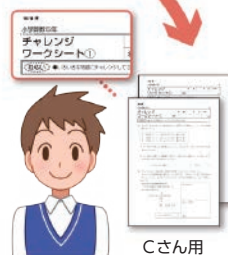
子供一人ひとりの個別課題を自動生成。
きめ細やかなフォローアップが可能です。



クラス全員分の個別課題に応じた教材を一括ダウンロードすることができ、便利です。

子供それぞれにきめ細かく合わせた復習教材を自動生成

得意な子供はチャレンジ問題でさらに伸ばす!



事後復習教材の例

小学算数6年 **フォローアップ** PEMA1_015

割合と百分率

小学算数6年 **フォローアップ** PEMA1_015

平行四辺形、台形、ひし形の面積

小学算数6年 **フォローアップ** PEMA1_003

約数と最大公約数

●約数がわかる。●最大公約数を求めることができる。

① 整数●をわりきれぬ整数を、●の約数という。
 ② 2つの整数●と△の共通な約数を、●と△の公約数という。公約数のうちで、いちばん大きい数を、最大公約数という。

問題

次の図形

(1) 平行四辺形

(1) $5 \times 8 = 40$

(2) $(4+2) \times 3 = 18$

問題

8と12の最大公約数を求めましょう。

それぞれの約数を、小さいほうから順に、ぜんぶ書くと、

8の約数 \rightarrow 1, 2, 4, 8

12の約数 \rightarrow 1, 2, 3, , , 12

となるので、共通な約数を見つけよう。

8と12の公約数は、, ,

の3個。このうち、最大公約数は、

問題

()の中の数の最大公約数を求めましょう。

(1) (5, 15) (2) (8, 20) (3) (12, 18)

フォローアップ
 問題の内容ごとに教材をご用意しています。

小学英語6年 **フォローアップ** PSEA1_010

チャレンジワークシート①

●いろいろな問題にチャレンジしてさらに力をつける。

◎ 次の紹介文を読んで、①～③の英文とその内容を表す絵を線で結びましょう。

(1) 自己紹介

Hi. I'm Manami.

① My birthday is May 15th.

② I have a cat.

③ I like animals.

(2) 友達を紹介

This is Kenji.

① He is my friend.

② He can run fast.

③ He can swim fast, too.

チャレンジワークシート
 得意な児童・生徒は、応用問題にチャレンジできます。

小学算数6年 **たしかめドリル** PEMA1_015

平行四辺形、台形、ひし形の面積

月 日 年 組 番 名前

次の図形の面積を求めましょう。

(1) 平行四辺形

(2) 平行四辺形

(3) 台形

(4) 台形

(5) ひし形

(6) ひし形

たしかめドリル
 たしかめドリルは、国語・算数・数学、英語(中学校内容のみ)をご用意しています。

個別最適化された事後復習教材をダウンロード

個人票に掲載のQRコードから、 児童・生徒自身でも事後復習教材にアクセスができます。

令和〇年度 標準学力調査

あなたの結果

〇〇市立〇〇小学校 6年1組1番 児童の名前

教科	総合ステップ	あなた	校内平均
国語	4	90.6%	77.1%
社会	5	82.1%	71.8%
算数	3	68.8%	74.6%
理科	2	46.7%	75.3%
英語	4	90.2%	88.0%

※総合ステップとは、総合ステップは、学習の到達度(どうたつど)を5段階で表しています。1が学年学習の最低到達度、5が最高到達度です。2段階以上進んでいる場合は、「基礎」「発展」「応用」の3つのステップのうち、最も進んでいるステップを総合ステップとして表示します。

※あなたのメッセージ
●教科ごとの総合ステップと正答率を一緒にしよう。
●総合ステップが1、2などの状態については、基礎復習をしよう。
●総合ステップが3以上の状態については、発展復習をしよう。
●総合ステップが4、5の状態については、応用復習をしよう。
●総合ステップが4、5の状態については、応用復習をしよう。

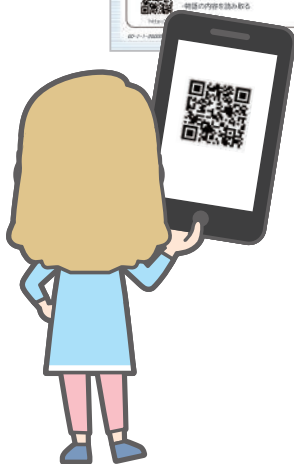
小学校6年国語 小学校6年社会 小学校6年算数 小学校6年理科 小学校6年英語(A)

問題の内容 あなた 問題数

●総合ステップが1、2の状態では、基礎復習をしよう。
●総合ステップが3の状態では、基礎復習をしよう。
●総合ステップが4、5の状態では、発展復習をしよう。
●総合ステップが4、5の状態では、応用復習をしよう。

がんばりグラフ

やってみよう！フォローアップシート



算数はあまり得意ではないから、「割合」と「面積」を復習したよ。
英語は得意で、よくできたから「チャレンジ問題」がピックアップされていたけれど、もっと定着させるために自分ではかのフォローアップもやってみよう！

フォローアップシート たしあめドリル

算数のなかま分け

分数の心算

小数の計算

分数の計算

多角形と円・合同

割合

図形と体積

応例・単位量あたりの大きさ

割合

円グラフや棒グラフ・平均

チャレンジ問題1

チャレンジ問題2

※問題の内容のなりのなりの、「やってみよう」をクリックすると、フォローアップシート・たしあめドリルを表示することができます。

フォローアップ算数一覧

※フォローアップシートの使用料はかかりませんが、通信費は自己負担になります。

フォローアップシート たしあめドリル

アルファベットの書き (横)

日常会話の理解 (横)

アルファベットの書き

単語の読み

英文の完成

案件文

チャレンジ問題1

チャレンジ問題2

フォローアップ英語一覧

受検いただいた教科は、個人票にピックアップされた2種類の問題の内容以外にも、すべての教材をご利用いただけます。
自主学習や家庭学習、長期休暇の課題としてもご利用ください。

総合質問紙調査 i-check

学習指導要領の改訂に伴い、主体的・対話的で深い学びの実現へ向けて、学校で取り組みが進められていることと思います。そして、学びの基盤となる学級経営にも、ますます関心が寄せられています。i-checkは、「自己肯定感」や「ソーシャルスキル」などの様々な視点で、子供の個性や背景、今の心のありようを、立体的に描き出す調査です。子供たち一人ひとりが自分を大切に思っているか、クラスの間関係、いじめの実態、悩みなど、表出しにくい様々な情報を可視化します。先生方の学級経営や総合的な児童・生徒理解にお役立ていただけましたら幸いです。

質問群のカテゴリー

第1	第2	第3
自己認識	愛されていますか	家族のささえ
		友だちのささえ
	自己肯定感	先生のささえ
		成功体験と自信
		充実感と向上心
社会性	ソーシャルスキル	規範意識
		思いやり（人間関係構築力）
		発信力
	社会参画	対話・話し合い
学級環境	学級風土	学級の規範意識
	リスク管理	学級の絆
		いじめのサイン
学習生活・生活習慣	生活習慣	生活習慣
	学習習慣	学習習慣
		学習意欲

結果資料一覧

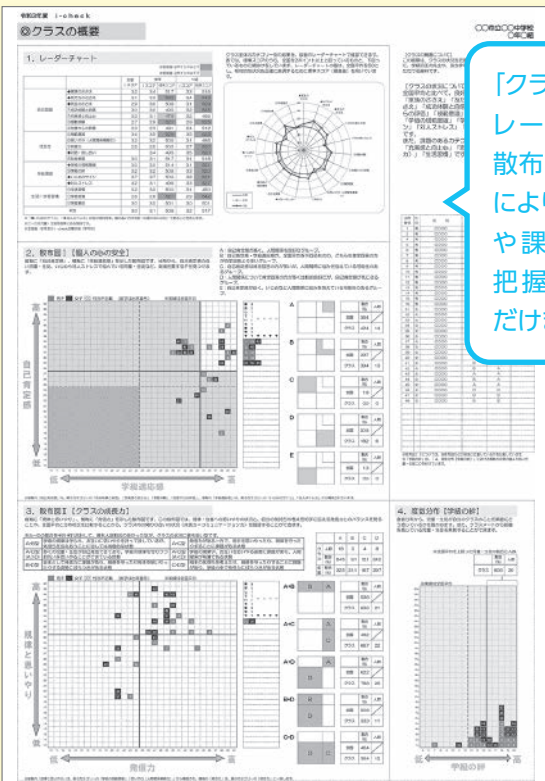
- 学年資料
 - ・学年の概要
 - ・回答構成比
- クラス資料
 - ・リスクマネジメント票
 - ・クラスの概要
 - ・回答結果一覧（質問別、カテゴリー別）
 - ・個人票【先生用】
- オプション
 - ・道徳関連資料
 - ・学力とのクロス集計
 - ・年度内複数回実施の推移
- 返却資料
 - ・個人票【児童・生徒用】



- ・場面を想像しや表現を工夫して
- ・学習指導要領に
- ・結果資料をわか

結果資料の紹介

クラスの概要



「クラスの概要」では、レーダーチャートや散布図、度数分布などにより、クラスの現状や課題、成長力等を把握・分析していただけます。

いじめや、生徒をリスク管理生徒を把握

回答結果一覧

質問別

「回答結果一覧（質問別）」では、確認できます。

見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを取り入れています。

よく、子供たちの負担になりにくいように、質問文のいます。合わせて、質問項目、カテゴリを見直しています。りやすく、短時間で状況を把握できるようにしています。

調査時間：1単位時間程度
質問数：54～93問
販売価格：1人あたり420円(税込)
調査結果：i-checkの結果資料は、紙帳票+データ(CD)で納品されます。

リスクマネジメント票

1 いじめのサイン
ここでは、「いじめのサイン」について、カテゴリ標準スコアの数値が一定以下の児童生徒をリストアップしています。
※児童生徒リストは、標準スコアの昇順に並べています。
2 対人ストレス
ここでは、「対人ストレス」について、カテゴリ標準スコアの数値が一定以下の児童生徒をリストアップしています。
※児童生徒リストは、標準スコアの昇順に並べています。

個人票

個人票<先生用>
OO市立OO小学校
2年1組0番 OOOO
各項目のスコアとグラフ表示。
- 生活力のスコア: 4.0
- 対人ストレス: 3.8
- 対人ストレス: 3.8
- 対人ストレス: 3.5
- 対人ストレス: 3.4

【先生用】は、質問項目への回答状況を抜粋して掲載しているほか、喫緊の課題を抱える児童・生徒についてはアラートを表示します。
【児童・生徒用】は、その子のよいところと課題を、子供へのメッセージ形式で掲載しています。

庭状況等に困り感のある児童・ト化した資料です。短時間で、の面において気になる児童・できます。

あなたの未来のためのi-checkシート
あなたのチャート
あなたの生活や学習習慣と、あなたのメッセージ
- 1日1日の勉強時間(月一ヶ月)
- 家で勉強する日数(1週間)
- 1か月に読む本の冊数(マンガ・絵本を除く)

カテゴリ別

Table with multiple columns showing category-wise data for various subjects and metrics.

別)では、質問ごとの回答状況していただけます。回答結果一覧気になる子供のカテゴリ概要を

学力との相関

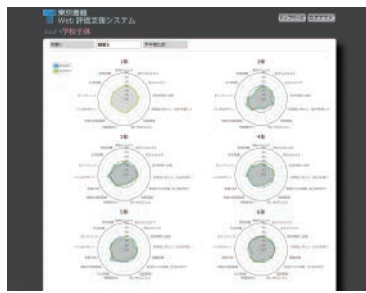
弊社発行の学力調査と併用していただくと、教科学力とのクロス集計が可能となります。

道徳関連資料

道徳科の学習指導要領の内容項目との関連資料です。
※お申し込みいただいた場合のみご提供する、オプション資料です。

Web評価支援システム

Web上でも結果をご確認いただけます。散佈図の組み合わせを変えられるなど、Webならではの利点もあります。



*一部の資料は、データのみのご提供となります。

その他 質問紙調査

※「生活行動・学習活動調査」「生活学習意識調査」は、段階評価方式ではご利用できません。また、標準学力調査との

生活行動・学習活動調査

「基本的な学力」を支えるのは「基本的な学習習慣」であり、
「基本的な学習習慣」を支えるのは「基本的な生活習慣」です。

学力を支える基本的な学習習慣や生活習慣が身についているかを自己確認することで、“自らの目標を掲げて主体的に努力する”児童・生徒の育成を目指しています。

調査時間：約30分

質問数：生活行動51問

学習活動（各教科）16～18問

販売価格：1人あたり321円（税込）

個人票

生活行動・学習活動調査

5年1組1番 東郷太郎

生活行動

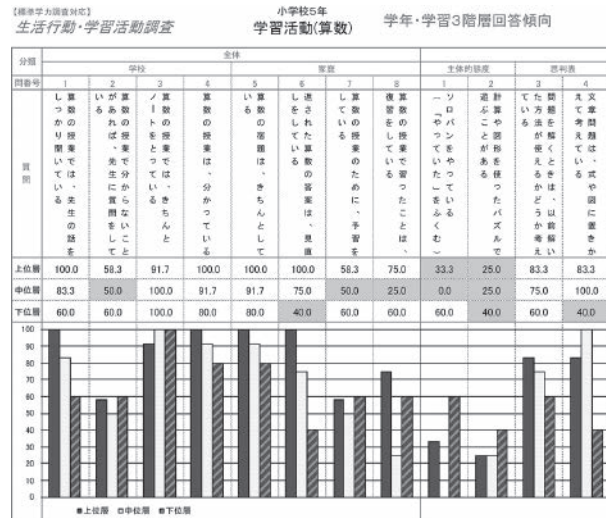
生活行動の肯定数 21
 読書の肯定数 10
 社会の肯定数 9
 算数の肯定数 14
 理科の肯定数 9
 英語の肯定数 9

コメント
 あなたの生活行動はたいへん良いです。とても頑張っています。無理しなくてもよいので、もっと続けていくことが大切です。
 「目標が社会と「理科」の学習活動には賛同があります。学習に対する取り組み方を見直し、取り進めたいです。」

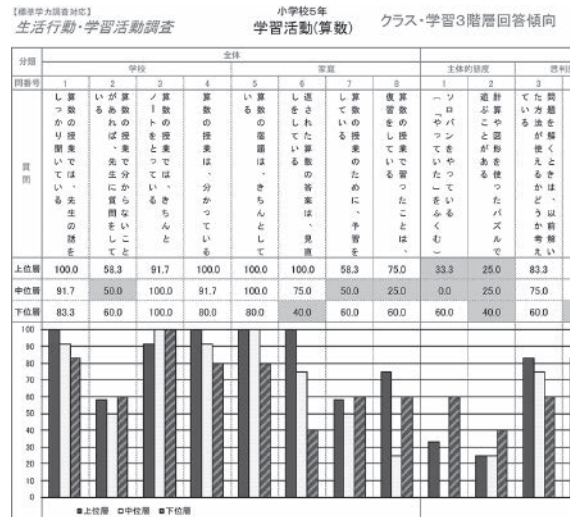
項目	質問	回答	項目	質問	回答
生活行動	1. 生活行動の肯定数	21	11. 読書の肯定数	10	
	2. 読書の肯定数	10	12. 社会の肯定数	9	
	3. 社会の肯定数	9	13. 算数の肯定数	14	
	4. 算数の肯定数	14	14. 理科の肯定数	9	
	5. 理科の肯定数	9	15. 英語の肯定数	9	
	6. 英語の肯定数	9			
	7. 読書の肯定数	10			
	8. 社会の肯定数	9			
	9. 算数の肯定数	14			
	10. 理科の肯定数	9			
学習活動	1. 算数の肯定数	14	17. 算数の肯定数	14	
	2. 算数の肯定数	14	18. 算数の肯定数	14	
	3. 算数の肯定数	14	19. 算数の肯定数	14	
	4. 算数の肯定数	14	20. 算数の肯定数	14	
	5. 算数の肯定数	14	21. 算数の肯定数	14	
	6. 算数の肯定数	14	22. 算数の肯定数	14	
	7. 算数の肯定数	14	23. 算数の肯定数	14	
	8. 算数の肯定数	14	24. 算数の肯定数	14	
	9. 算数の肯定数	14	25. 算数の肯定数	14	
	10. 算数の肯定数	14	26. 算数の肯定数	14	
	11. 算数の肯定数	14	27. 算数の肯定数	14	
	12. 算数の肯定数	14	28. 算数の肯定数	14	
	13. 算数の肯定数	14	29. 算数の肯定数	14	
	14. 算数の肯定数	14	30. 算数の肯定数	14	
	15. 算数の肯定数	14	31. 算数の肯定数	14	

児童・生徒一人ひとりが、日々の生活や学習活動の中で、個々の課題に応じて具体的な目標を掲げて取り組めるよう、学力と学習活動の様子を把握することができます。

学校用資料



※数値は肯定的に答えられた割合を示しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の階層に基づきます。
 ※「学習活動」の「学年・学習3階層回答傾向」は、学年における学習活動の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけたまま、
 ※網のかけられた数値については、学年における「教科書指導」の参考にしてください。



※数値は肯定的に答えられた割合を示しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の階層に基づきます。
 ※「学習活動」の「クラス・学習3階層回答傾向」は、クラスにおける学習活動の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけたまま、
 ※網のかけられた数値については、クラスにおける「教科書指導」の参考にしてください。

『標準学力調査』と併用していただくと、学力調査の結果に基づいた「学力層別分析」の資料をご提供いたします。

*自治体一括でのご採用の場合は、*帳票

見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを取り入れています。

併用が前提であり、質問紙調査単体でのお申し込みは受け付けておりません。

生活・学習意識調査【標準版】

地域や学校の傾向を、グラフ化してご提供します。「意識調査をしたいが1単位時間はかけられない」という場合などに有効です。
(※個人票はありません)

調査時間：約15分
質問数：24～52問
販売価格：1人あたり
162円(税込)

質問紙

標準学力調査 生活・学習意識調査
【1学期実施版】 中学校1年生

1年 組 番

この調査は、みなさんの学校や家での生活や学習について、あてはまるものやあなたの考えに近いものを選び、マークシート回答用紙にある番号の○を一つだけついでください。

1 【共通質問】以下の質問について、あてはまるものやあなたの考えに近いものを選んで、マークシート回答用紙にある番号の○を一つだけついでください。(一つ選んでください)

番号	質問内容	そう思う	どちらでもない	どちらでもない	そう思わない	分からない
(1)	学校が好きだ。	1	2	3	4	5
(2)	勉強が好きだ。	1	2	3	4	5
(3)	勉強は大切だ。	1	2	3	4	5
(4)	勉強は受験に関係なくても大切だ。	1	2	3	4	5
(5)	勉強すれば、自分はよい成績をとれる。	1	2	3	4	5
(6)	勉強すれば、自分の受験に役立つ。	1	2	3	4	5
(7)	勉強すれば、自分の好きな仕事につくことに役立つ。	1	2	3	4	5
(8)	勉強すれば、自分は、分からないことでも自分の力で答えを見つめられるようになる。	1	2	3	4	5
(9)	勉強すれば、自分のふだんの生活を、社会に出て役立つ。	1	2	3	4	5
(10)	勉強すれば、家の人がはめてくれる。	1	2	3	4	5
(11)	勉強すれば、先生がはめてくれる。	1	2	3	4	5
(12)	よい成績がとれるよう、勉強したい。	1	2	3	4	5
(13)	受験に役立つよう、勉強したい。	1	2	3	4	5
(14)	自分の好きな仕事につけるよう、勉強したい。	1	2	3	4	5
(15)	分からないことでも自分の力で答えを見つめられるよう、勉強したい。	1	2	3	4	5
(16)	ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい。	1	2	3	4	5
(17)	家の人にはめられるよう、勉強したい。	1	2	3	4	5
(18)	先生にはめられるよう、勉強したい。	1	2	3	4	5

～(中1 1学期)～

学校用資料

『標準学力調査』と併用していただくと、学力調査の結果に基づいた「学力層別分析」の資料をご提供いたします。

生活・学習意識調査(標準版)

4 (25) 算数の勉強は好きですか。

	1	2	3	4	5	割合
全体	7.0	31.0	3.4	3.4	3.4	
1	7.0	25.0	0.0	0.0	5.0	
2	0.0	7.0	25.0	0.0	0.0	
1	50.0	20.0	0.0	20.0	0.0	

4 (27) 質問がとけたとき、もがたときの方がはかばかにないか、考えられますか。

	1	2	3	4	5	割合
全体	4.0	31.0	20.7	0.0	3.4	
1	4.0	25.0	25.0	0.0	5.0	
2	0.0	7.0	15.0	0.0	0.0	
1	50.0	20.0	20.0	0.0	0.0	

4 (26) 算数の時間に、みんなでいろいろな考え方を発表しあうことは好きですか。

	1	2	3	4	5	割合
全体	24.1	51.7	10.3	10.3	3.4	
3	30.0	45.0	5.0	15.0	5.0	
2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
1	20.0	40.0	47.0	0.0	0.0	

4 (28) 質問がでなかったとき、なぜがらみがあったのか、考えられますか。

	1	2	3	4	5	割合
全体	31.9	37.9	10.3	3.4	10.0	
3	25.0	45.0	10.0	15.0	5.0	
2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
1	30.0	0.0	20.0	0.0	0.0	

個人データを集計し、学校やクラスの生活状況や学習状況の傾向を把握できる資料です。

各層の傾向と課題を把握できるだけでなく、児童・生徒や保護者に対しても、きめの細い、より具体的な助言ができます。

教育委員会用資料もご提供いたします。のデータがWebからダウンロードできます。

*自治体一括でのご採用の場合は、教育委員会用資料もご提供いたします。

調査問題のラインナップと概要

■教科・学年ラインナップ

	学力調査										質問紙調査		
	1学期実施版					3学期実施版							
	部分改訂版・全面改訂版					部分改訂版・全面改訂版					i-check	生活行動・ 学習活動 調査	生活・学習 意識調査
国語	社会	算・数	理科	英語	国語	社会	算・数	理科	英語				
小1						◎◆		◎◆			◎		
小2	◎◆		◎◆			◎		◎			◎		◎
小3	◎		◎			◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎
小4	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎
小5	◎	◎	◎	◎	★	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎★	◎	◎	◎
中2	◎	◎	◎	◎	◎★	◎	◎	◎	◎	◎★	◎	◎	◎
中3	◎	◎	◎	◎	◎★	◎*	◎*	◎*	◎*	◎*	◎	◎	◎
販売 価格	各学年1教科:390円(税込)										420円 (税込)	321円 (税込)	162円 (税込)

◆小学校1年生の3学期実施版と小学校2年生の1学期実施版は、解答用紙が問題と一体型となっています。

※3学期実施版の全面改訂版では、中学校3年生の発行はありません。

★小学校外国語活動の調査については本冊子20ページを、中学校英語スピーキング調査については本冊子21ページをご覧ください。

■出題範囲 (部分改訂版・全面改訂版共通)

1学期実施版 前学年の学習内容(中学校1年生は小学校内容となります)

3学期実施版 当該学年11月までの学習内容

■評価方式

- 結果資料は、「目標準拠評価方式」と「段階評価方式」の2種類があり、ご注文の際にどちらかを選択することができます。
- 「生活行動・学習活動調査」「生活学習意識調査」は、段階評価方式ではご利用できません。また、標準学力調査との併用が前提であり、質問紙調査単体でのお申し込みは受け付けておりません。

■調査結果の納品方法について →11ページも併せてご参照ください

学力調査の結果資料の納品方法は、下記の3パターンからお選びいただけます。

①紙帳票のみ

②データ(CD)のみ

※紙帳票には含まれていないSP表など追加の帳票データも入っています。

③紙帳票+データ(CD)

※追加料金(1校あたり1,100円(税込))がかかります。

オプション 以下を選択することにより、追加料金を伴うものがあります。

学力調査

- **個人経年比較資料**…1人あたり 53円(税込)となります。
※「ステップ(段階評価)」、「自己内評価」、「相対評価」の3種類があり、どれかを選択することができます。
- **Web評価支援システム**…基本使用料無料。お申し込みの際にご注文ください。
- **事後復習教材作成機能**…無料です。お申し込みの際にご注文ください。
- **分析レポート(考察資料)作成機能**は、1学年1教科5,500円(税込)となります。
- **Web評価支援システムの利用可能期間**

	1学期版	3学期版
問題内容、事後復習教材	10月末日	翌年度の5月末日
上記以外	3月末日	翌年度の12月末日

i-check

- **道徳関連資料**…無料です。お申し込みの際にご注文ください。

■ Web評価支援システムは、左記商品のご採用学校・教育委員会へのオプションサービスです。
(詳細は専用パンフレットをご覧ください)

システム利用料金	
閲覧項目	価格
基本使用料	無料
事後復習教材 ※学力調査のみ	無料
分析レポート(考察資料) ※学力調査、i-check	1学年1教科あたり 5,500円(税込)

※Web評価支援システムは、調査の申込時に併せてお申し込みください。
※登録のための学校IDと仮パスワードは、結果資料と一緒にお届けいたします。

その他のWebサービス

- **やってみよう!フォローアップシート**
個人票のQRコードから、フォローアップシートをダウンロードすることができます。
※フォローアップシートの使用料はかかりませんが、通信費は自己負担となります。

調査問題の利用にあたって

- 全面改訂版は、問題用紙を回収しません。調査の公平性を保つため、1学期実施版の問題用紙は6月末、3学期実施版の問題用紙は3月10日まで児童・生徒に返却せず、校内での使用・保管をお願い致します。
- 小学校1年生の3学期実施版および2年生の1学期実施版は、採点済みの問題用紙は返却致しません。

お願い

実施の直前に過去の問題及び事後復習教材で事前練習を行うと、児童・生徒の学力を正しく測定することが困難となります。児童・生徒の学力を正しく測るため、「事前練習」はお控えください。また弊社学力調査の問題をコピーして児童・生徒に実施させるなど、調査問題を2次利用することは著作権の侵害にあたります。

お申込みから結果資料お届けまでの流れ

① ご注文

- 調査実施日の2週間前までに、お申し込みください。

② 問題用紙・実施の手引きなどの送付

- 調査問題・部材の納品には、ご注文をいただいてから通常5～8営業日ほどお時間をいただきます。
- 自治体単位でのご注文は、納品まで2週間ほどお時間をいただきますので、早めのご注文をお願いします。

③ 調査の実施

- 納品した「実施の手引き」をご確認のうえ、各種調査を実施してください。

④ 解答用紙の返送

- 「実施の手引き」をご確認のうえ、返送してください。

⑤ 結果資料の送付

- 1学期実施版が6月初旬以降順次、3学期実施版が1月中旬以降順次となります。
- 段階評価方式の結果資料の発送時期は、目標準拠評価方式と異なります。下記の教育事業本部へお問い合わせください。
- 各種個人別帳票には、児童・生徒が書いた名前が掲載されます。プライバシーに配慮し、個人名を記載しない方法も可能です。
- 学校のご都合で、個人用または学校用データを再発行する場合は、別途有料となります。

※詳細につきましては、ご注文の際、担当者にご相談ください。



●お申し込み・内容についてのお問い合わせ

東京書籍株式会社 教育事業本部

【東日本】〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel.03-5390-7451 Fax03-5390-7582

【西日本】〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-4-10 大阪東書ビル Tel.06-6397-1354 Fax06-6397-1357

ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>



●出荷・納品についてのお問い合わせ

(株)学習調査エデュフロント 「標準学力調査」係

Tel.03-5390-7572



●代理店

■企画 東京書籍株式会社 / (株)学習調査エデュフロント ■制作・発行 東京書籍株式会社 ■コンピュータ処理・運用 (株)学習調査エデュフロント

※解答(回答)用紙に記入された個人情報、本調査の目的以外には使用しません。
ただし、匿名加工情報として研究・分析等に活用させていただくことがあります。

2021.09